KANESHIN CATALOGUE VOL.1

for construction materials

カネシン［リフォームPSS］製品カタログ

KANESHIN REFORM

リフォームPSS 建築金物

HOUSE RENOVATION

CONTENTS

ページ

リフォームPSS・・・・・・・・・・・ 02/03
リフォームプロダクト ・・・・・・ 04/05
リフォームサポート
［カネシンアローズ］・・・・・・・・・・・・・ 06
［カネシン開発試験センター］・・・・・・・ 07
リフォームサービス［カネシンCSセンター］ 08
ワイエスグループ ・・・・・・・・・・・・・ 08
PSSネットワーク ・・・・・・・・・・・・・ 09
Zマーク表示金物対応表 ・・・ 36/37
【参考資料】耐震診断法の概要 ・・ 38/39

壁の補強

ページ

1 耐震LaZo（ラソ）工法 ・・・・・・・・ 10/11

2 V-RECS ・・・・・・・・・・・・・ 12/13

3 耐力壁ビス KS4041 ・・・14/15

4 1.5倍用ハイパーガセット ・・・16

5 ハイパーガセット・Ⅱ ・・・・・・・・ 17

基礎・土台の補強

ページ

1 ユニハットアンカーボルト ・・・ 18

2 コルトアンカーボルト ・・・・・・・ 19

3 HPアンカー ・・・・・・・・・・・・・・ 20

4 プロウェーブ鋼製束 ・・・・・・・・ 21

接合部の補強

ページ

1 ライトコーナー ・・・・・・・・・・・・・ 22

2 ライトコーナー合板タイプ ・・・ 23

3 ハイパースリム・Ⅱ ・・・・・・・・・・ 24

4 ハイパースリム・Ⅱ合板タイプ・・・・ 25

5 ビッグコーナー 15・・・・・・・・・・ 26

6 ビッグコーナー15合板タイプ ・・・ 27

7 ハイパーホールダウン23
ハイパーホールダウン33 ・・・ 28/29

梁の補強

ページ

1 レンコン金物 ・・・・・・・・・・・・・・ 30

2 フィックステンプレート ・・・・・・ 31

床の補強

ページ

1 プロニック600 ・・・・・・・・・・・・ 32

柱・梁の増設

ページ

1 後施工金物〈柱頭・柱脚用〉・・・ 33

2 後施工金物〈梁受用〉・・・・ 34/35

リフォーム新時代へ

カネシンは現場直結で、住宅リフォームを支えます。

住む人の時間や夢を将来へつなぐ住宅リフォーム。

耐震補強やライフスタイルの変化とともにリフォーム工事へのニーズが高まっています。

カネシンは、耐震補強に必要な接合金物を

必要な箇所に必要な数だけムダなくご提供するために

先進のサポート・サービス体制で、リフォーム工事をバックアップ。

現場の作業性や施工効率の向上に力を発揮しています。

また、外部の専門機関とネットワークを結んで

耐震診断からリフォーム瑕疵保険まで幅広く対応しています。

より安心により快適に、カネシンはリフォーム事業を支えつづけます。

基本理念は
「きめ細かく、そしてトータルサポート」

KANESHIN REFORM
リフォーム PSS

1棟1棟異なる条件で施工される煩雑なリフォーム工事。
建築構造金物30年、現場を知りつくしたカネシンの
技術とノウハウで現場ごとの要請に応え、
きめ細かくていねいにサポートします。また
豊富な専門知識やサービス・サポート
体制、そしてグループ企業や専門
機関と一体にリフォーム工事を
トータルに支えます。

KANESHIN REFORM PRODUCTS

品質で、施工性で、建築を支える、
カネシン製品。

レンコン金物

後施工金物〈梁受用〉

V-RECS

KANESHIN REFORM SUPPORT

先進の配送システムが現場を支える、
サポート体制。

カネシンアローズ

KANESHIN TECHNICAL CENTER
カネシン開発試験センター

KANESHIN REFORM SERVICE

現場や作業の難問・疑問に応える、
サービス体制。

CS CENTER
カネシンCSセンター

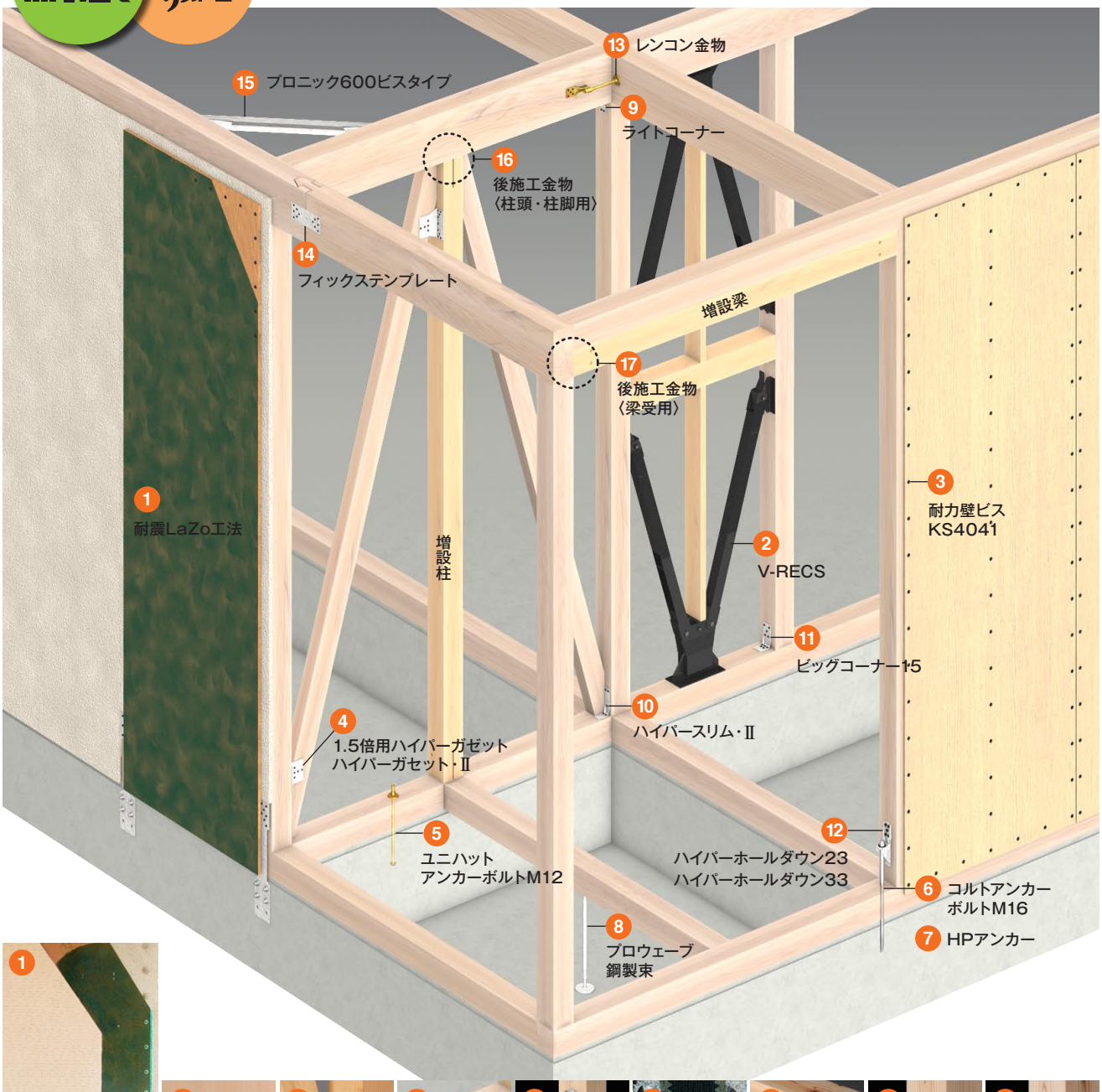
YS GROUP
ワイエスグループ

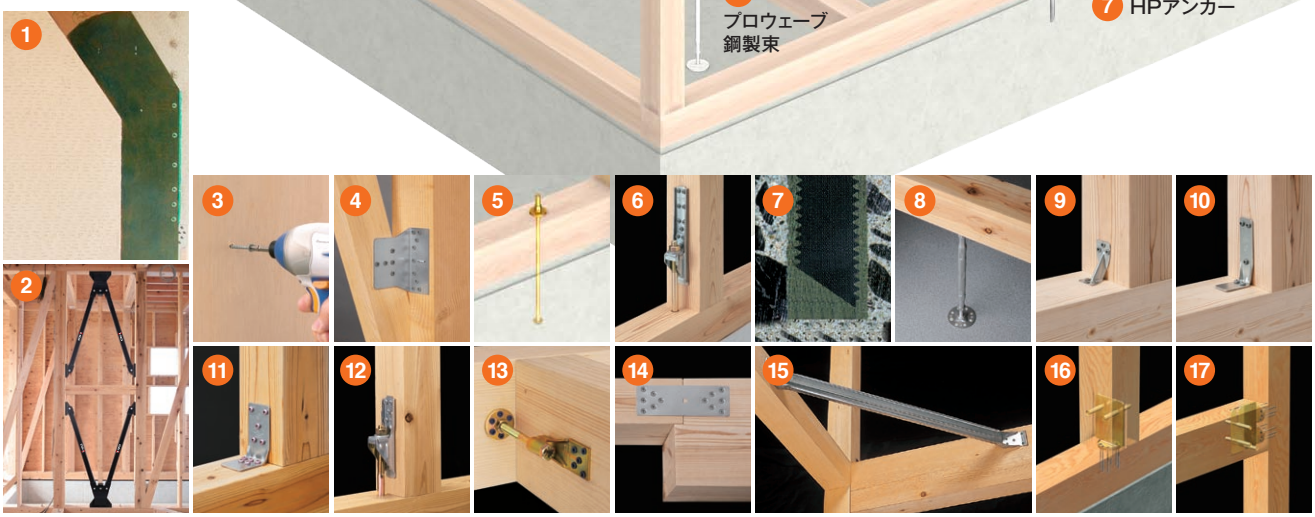
KANESHIN REFORM
リフォームPSS PRODUCTS

プロダクト
カネシン製品が、信頼と満足の

耐震 構造リフォーム

リフォーム建築は、強い構造体づくりから始まる。





リフォーム建築を実現させます。

耐震・補強部分別のカネシンリフォーム製品一覧

補強箇所	補強方法	製品名	掲載ページ
壁の補強	外部からの補強	① 耐震LaZo（ラソ）工法	10·11
	揺れを小さくする装置で補強	② V-RECS	12·13
	構造用合板面材による補強	③ 耐力壁ビス KS4041	14·15
	筋かいによる補強	④ 1.5倍用ハイパーガセット ハイパーガセット·Ⅱ	16·17
基礎·土台の補強	増設基礎との緊結	⑤ ユニハット アンカーボルトM12	18
		⑥ コルト アンカーボルトM16	19
	既存基礎との緊結	⑦ HPアンカー	20
	束の追加	⑧ プロウェーブ鋼製束	21
接合部の補強	柱と横架材の補強	⑨ ライトコーナー（合板）	22·23
		⑩ ハイパースリム·Ⅱ（合板）	24·25
		⑪ ビッグコーナー15（合板）	26·27
		⑫ ハイパーホールダウン23·33	28·29
梁の補強	梁の補強	⑬ レンコン金物	30
	梁継手の補強	⑭ フィックステンプレート	31
床の補強	火打ちによる補強	⑮ プロニック600ビスタイプ	32
柱·梁の増設	柱の増設	⑯ 後施工金物〈柱頭·柱脚用〉	33
	梁の増設	⑰ 後施工金物〈梁受用〉	34·35

耐震LaZo工法

V-RECS

耐力壁ビス KS4041

1.5倍用ハイパーガセット

ハイパーガセット·Ⅱ

ユニハットアンカーボルトM12

コルトアンカーボルトM16

HPアンカー

プロウェーブ鋼製束

ライト
コーナー（合板）

ハイパー
スリム·Ⅱ（合板）

ビッグ
コーナー15（合板）

ハイパー
ホールダウン23

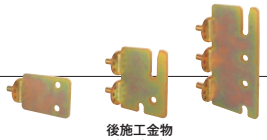
ハイパー
ホールダウン33

レンコン金物

フィックステンプレート

プロニック600ビスタイプ

後施工金物
〈柱頭·柱脚用〉


後施工金物
〈梁受用〉

KANESHIN REFORM リフォームPSS SUPPORT

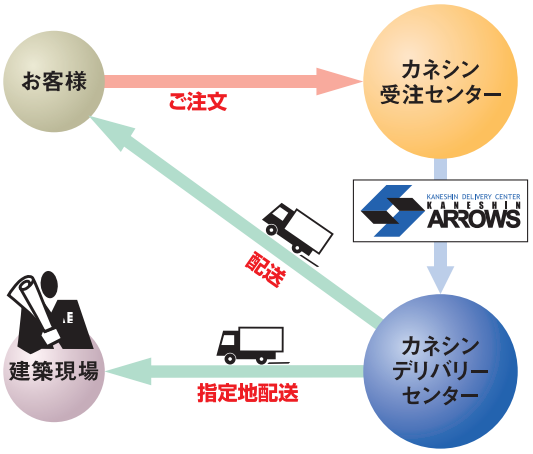
カネシンの先進サポート体制が、

必要な時、必要な製品を、必要なだけ、迅速にお届けします。

受注・配送・納品までを一括管理する最新鋭システム

カネシンアローズ

カネシンは受注から納品まで情報管理を一本化した最新の製品供給体制を整え、リフォーム工事の現場に即応しています。現場の工程に合わせた仕分け配送など、きめ細かな対応により、煩雑なリフォーム工事もスムーズに進められます。



❶正確な納期

受注センターとデリバリーセンターをオンライン化し、受注時に納期や在庫状況、運送会社のエリア別納品日を即答できます。また受発注に合せて在庫管理がされるため、お届けの納期が明確になり、工程管理がしやすくなります。

❷現場ごとに梱包配送

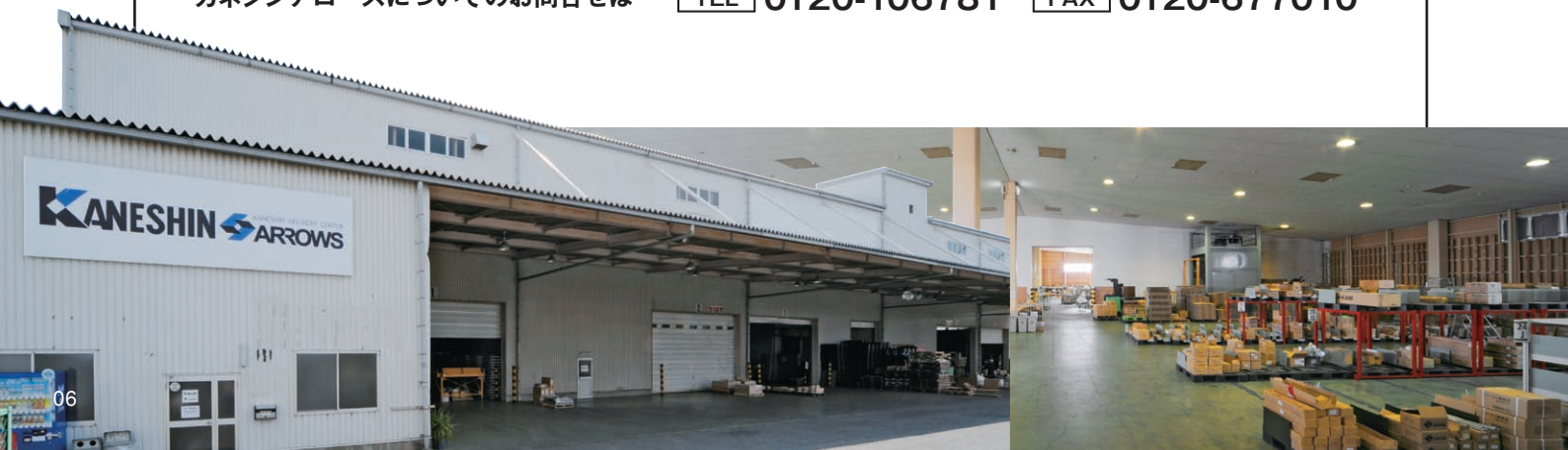
現場ごとの工事内容に合わせて梱包した製品をお届けします。部材の中から必要なものを内容明細ラベルで確認して探せるので、工事手順に合わせて正確で効率のいい作業が可能です。

基礎 → 土台 → 上棟 → 構造 → 造作

❸詳細な履歴管理

デリバリーセンターでのすべての入出庫作業の履歴がそのままデータで残るので、時間が経過しても個々のリフォーム工事に使用した製品について追跡管理が可能です。

カネシンアローズについてのお問合せは　TEL 0120-106781　FAX 0120-677010



リフォーム現場に効率と安心をお届けします。

安心と信頼のリフォーム工事のために、ご活用ください。

試験データが裏付ける信頼性

KANESHIN TECHNICAL CENTER

カネシン開発試験センター

カネシン開発試験センターの厳密な試験・実験データは、構造体の強度確認や新工法の開発などリフォーム工事の信頼性を支えています。充実した体制のもと、構造体の安全性や信頼性の向上・確保のための試験を実施。自社体制によるシミュレーション分析、実物試験、委託による実大振動試験にも対応しています。またお客様それぞれの構造体や施工金物の強度確認試験などにもお応えします。

徹底した試験、厳密なデータ分析が基本

開発試験センターでの試験

❶面内せん断試験　軸組(工法)・枠組(工法)壁面耐力等水平荷重に対する構造体の耐力を測定する。
❷引張・圧縮試験　木造建築における接合部全般(継手、仕口等)の耐力を測定する。
❸塩水噴霧試験
❹促進耐光試験
❺温湿度サイクル試験　恒温恒湿によるもの。同一試験で2時間を超える。
❻化学測定/蛍光X線膜厚計　試料高さ:~140mm(メッキ厚測定試験)

❸~❻は「東京都城東地域中小企業振興センター」への依頼試験。

地震波加震も実験可能な評価プログラムを導入。

カネシン開発試験センターについてのお問合せは　TEL 0120-106781　FAX 0120-677010

KANESHIN REFORM リフォームPSS SERVICE

カネシンのワンストップサービス

ご相談ください、リフォーム建築のあらゆる問題を。

お客様と一緒に問題解決をする総合相談窓口 CS CENTER カネシンCSセンター

1つとして同じもののないリフォーム工事では、解決しなければならない不明点や疑問点も様々。カネシンCSセンターは、お客様のそんな問題に即対応し、いっしょに解決するご相談窓口です。建築金物の基本的知識から、正確な金物の選定や位置決めなど品質の高い効率のいいリフォーム工事のためにきめ細かく対応いたします。さらにグループ企業それぞれのノウハウを結集し、設計、構造計算など、住宅リフォームのあなたのブレーンとしてお役立ていただけます。

カネシンCSセンターについてのお問合せは TEL 03-5671-1077 FAX 0120-677010

グループの総合力でリフォーム建築をバックアップ YS GROUP ワイエスグループ

グループ企業東昭エンジニアリング（株）と（株）ニューホームシステムの専門知識と技術やノウハウを結集して、ハードからソフトまでお客様のリフォーム工事をバックアップします。

東昭エンジニアリング（株）

建築構造設計、住宅性能表示制度に伴う申請サポート業務をはじめ、構造計算、工法開発など建築構造・設計に関するソフト支援から、住宅コンサルティング等、多様な業務を行っています。

（株）ニューホームシステム

健康、省エネルギー、環境などこれからの時代に求められる住空間を提供するためHPシステムやLaZoパネル等の普及を図り、工務店の支援を行っています。

LaZoパネル

体制が、リフォーム工事を力強く応援します。

解決します、リフォーム建築のあらゆる問題を。

ネットの力で診断・保険・施工支援までサポート　PSSネットワーク

木造住宅の耐震リフォームでは、耐震強度など現在の建物の状態を一定の基準に従って診断することから始まります。カネシンでは外部の専門機関ともネットし、全国の対象物件の耐震診断に対応いたします。そして診断結果による最適な耐震構造リフォーム計画から、新しく導入されたリフォーム瑕疵保険までバックアップいたします。

耐震診断

現地調査や**耐震診断**の協力依頼先をご案内します。

技術・施工支援

補強部材の使い方や施工方法も**マニュアル**や**講習会**などでバックアップします。

補強計画

診断結果にもとづき**補強計画**の**提案**やアドバイスを行います。

部材供給

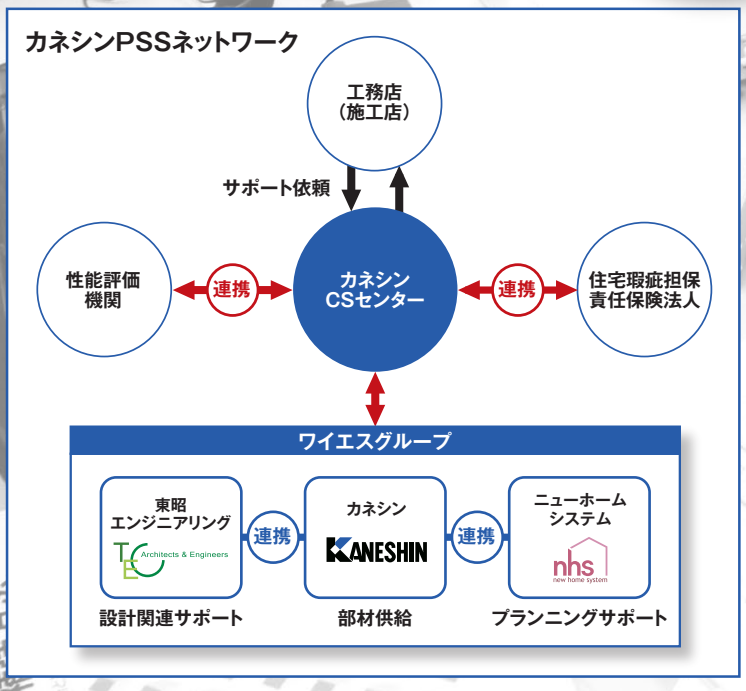
必要に応じて前回の**出荷履歴検索**など、もしもの相談にも応じます。

リフォーム瑕疵保険

制度の説明から**保険法人のご案内**までサポートします。

各種相談

その他さまざまな**リフォーム**に関するお悩みを**ご相談**ください。



1 耐震LaZo（ラソ）工法

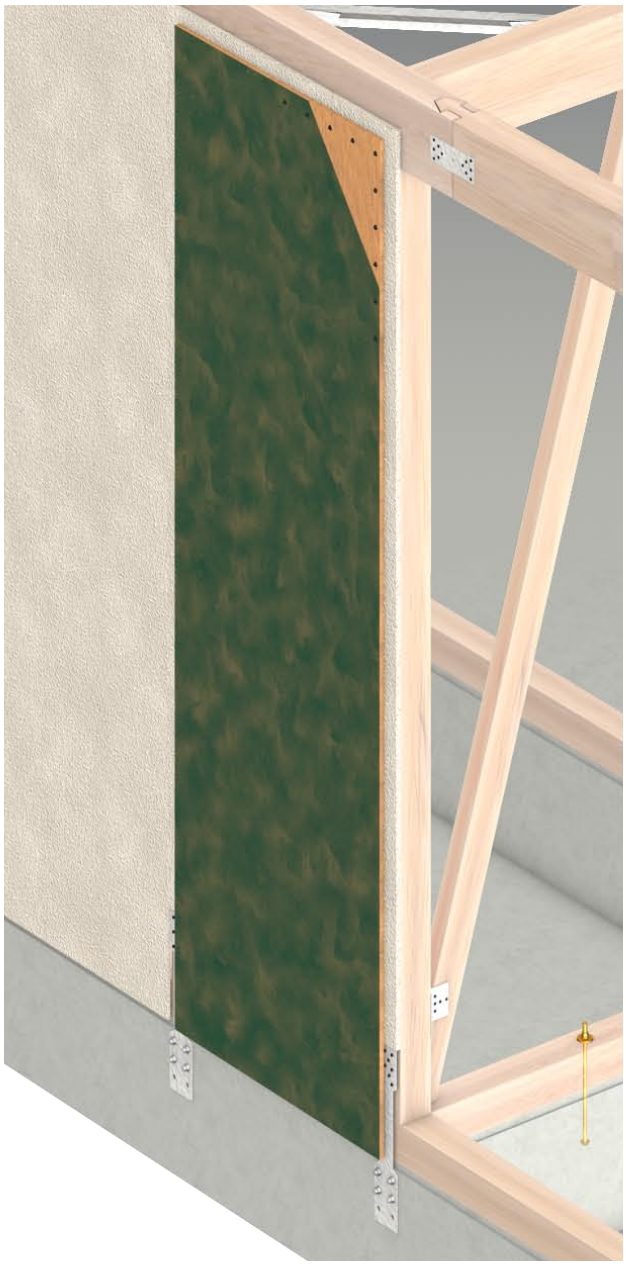
既存の外壁上から、そのまま耐震補強工事が可能です。
木造在来工法住宅の耐震補強壁リフォームのために開発された工法です。
外付け可能で既存外壁を撤去することなく、居住したままでも工事が行える事が最大の特徴です。

専用ビスで柱、梁、土台とがっちり結合。木造住宅の耐震性能を飛躍させます。

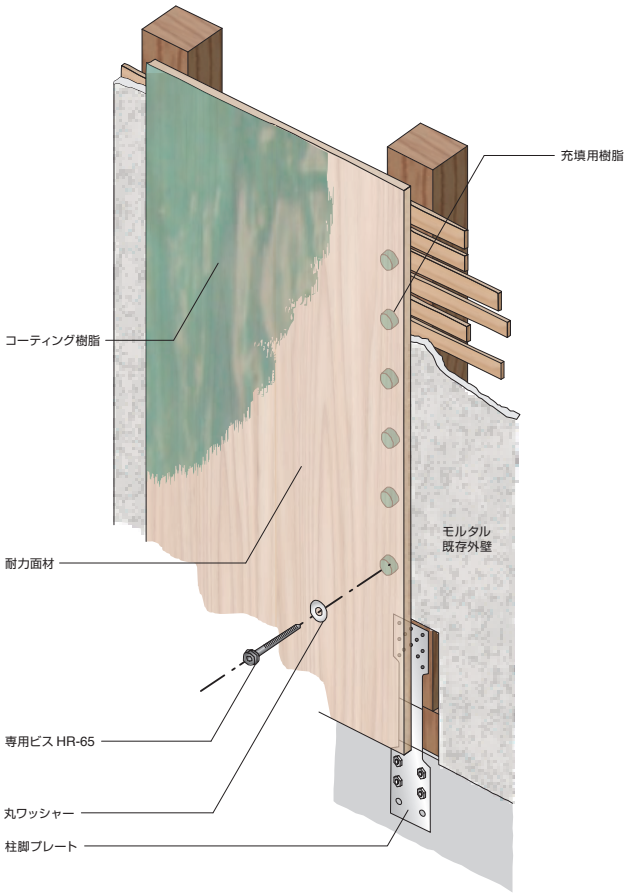
もっと強く、もっと効率よく、もっと低コストに、「耐震LaZo工法」は木造在来工法の耐震補強壁工法の開発をめざす研究者と企業のコラボレーションによって生まれました。構造体と強力に結合する専用ビスの開発や一般的な耐力面材の採用などにより、外壁の耐震補強工事に強さと施工効率を両立させました。また外付け型工事のため住みながらの施工も可能で、工期短縮、コスト削減にも役立ちます。

耐震LaZo工法の特長

1. 工事中でも居住者の日常生活に支障をきたさない住みながらの施工が可能です。
2. 既存のモルタル外壁の上に耐力面材を取り付けるので工事が簡単で工期が短縮できます。
3. 断熱や防水などの工事が軽減されるため施工費用の低減が図れます。
4. 廃棄物の発生が少なく、環境負荷が低減されます。



（財）日本建築防災協会の住宅等防災技術評価申請中

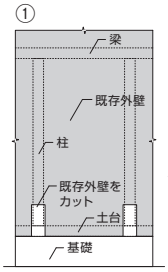


■仕様のポイント

① 耐力面材は構造用合板またはMDFが使えます。（別途ご用意下さい。）
② 既存外壁のビス打込み位置にφ30mmのコア孔を作り、充填用樹脂を注入します。
③ 専用ビスを、耐力面材の上からコア孔を通して既存躯体（柱、梁、土台）に打ち込むことにより、耐力面材と既存躯体を一体化させます。
④ 面材の定尺を超える場合は、アラミド繊維シートで面材同士を継ぐことができます。
⑤ 耐震LaZoパネルの両端部が取付く柱の柱脚と基礎は、柱脚プレートで緊結します。
⑥ 耐力面材の表面は、防水のためコーティング用樹脂を塗布し、その上からモルタル仕上げをすることが可能です。

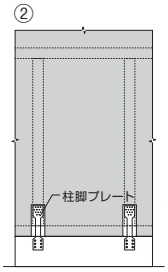
■施工手順

①



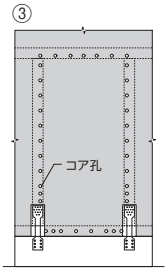
柱脚プレート部分の外壁をカットする。

②



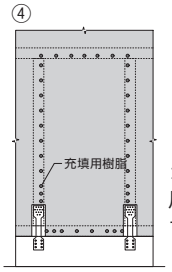
基礎と柱脚に柱脚プレートを取付ける。

③



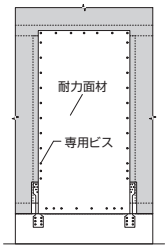
耐力面材を取付けるビス位置のコア孔を作る。

④



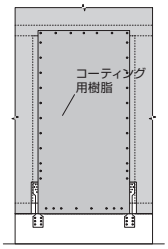
コア孔に充填用樹脂を注入する。

⑤



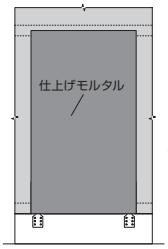
専用ビス HR-65で耐力面材を取付ける。

⑥



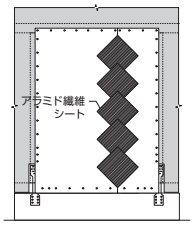
耐力面材の表面にコーティング用樹脂を塗布する。

⑦



仕上げモルタルを塗付ける。

［面材継ぎの場合］



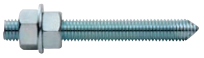
※耐力面材を継ぐ場合は、⑤-⑥間でアラミド繊維シートで接合する。

耐震LaZo金物セット

① 柱脚プレート

② HR-65

④ 全ネジケミカルボルト



③ HPアンカー

⑤ 丸ワッシャー

充填用樹脂

アサヒボンド576

コーティング用樹脂

アサヒボンド701

■標準仕様

資材名	商品コード	梱包	使用量（一枚あたり）	1梱包当たり製作可能枚数
耐震LaZo金物セット	900000	①柱脚プレート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2枚 ②HR-65・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80本 ③HPアンカー（HP-12）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8本 ④全ネジケミカルボルト（M12×100）・・・・・・・・・・・・・・・・・8本 ⑤丸ワッシャー（M6×22×t1.6）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58枚	1枚分相当	1枚分相当
充填用樹脂	ー	アサヒボンド576 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 主　剤：4kg缶×2 硬化剤：2kg缶×2	主　剤：0.8kg 硬化剤：0.4kg	10枚分相当
コーティング用樹脂	ー	アサヒボンド701 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 主　剤：9kg缶×1 硬化剤：3kg缶×1	主　剤：1.2kg 硬化剤：0.4kg	7.5枚分相当

■面材継手仕様［ 面材継ぎの場合 ］

資材名	梱包	使用量（一枚あたり）	1梱包当たり製作可能枚数
アラミド繊維シート	フィブラシートAK-40/40・・・・・50cm角×5枚	50cm角×5枚	1枚分相当

※含浸接着用樹脂は「アサヒボンド701」をご使用ください。

関連部位の推奨仕様

基礎補強※ ・・・・ アラミド繊維シート「フィブラシートAK-90」
含浸接着用樹脂は「アサヒボンド701」をご使用ください。

外壁仕様 ・・・・ 仕上げモルタル「NSタウンモルタル」

※基礎補強が必要な場合のみ使用。

詳細については専用のマニュアルをご用意しておりますので、ご希望の際はお問合せください。

2 V-RECS（ヴイ・レックス）
〔地震エネルギー減衰ユニット〕

壁の耐震補強リフォームに先進の制震工法。
V-RECS の設置は、在来工法における通常の壁面で対応します。
専門知識も不要で、木造住宅建築の経験があれば、取付け説明書を見るだけで設置が可能です。

地震の揺れを減衰ダンパーが吸収。木造住宅の長寿命化を実現。

地震国日本で住宅の長寿命を実現するために、カネシンが取り組んできたのが木造在来工法における制震構造です。高い制震性能、シンプルな構造、効率のいい配置と簡易な工事、メンテナンスフリーなど、そのすべてを実現し、日本の木造住宅に信頼と安心を飛躍させる「V-RECS」。地震の振動エネルギーをV型の鋼製V-RECSアームから高減衰ゴムを組み込んだV-RECSダンパーに伝え、減衰ゴムが変形して地震エネルギーを吸収するユニットは、阪神大震災レベルの揺れなら約25%軽減できます。（※モデルケースの場合）

ダンパーの回転による高減衰ゴムのせん断変形を赤色で示したイメージ図です。

V-RECSの特徴

- 繰り返す余震に強い復元力
- 抜群の作業効率 メンテナンスフリー
- 耐震構造に制震性能をプラス
- 低コストで高い制震効果

V-RECS を装着した場合の揺れの比較

耐震の強さに加え、地震時に発生する建物の変形を制震装置が吸収し、揺れを減少。建物の倒壊を防ぐだけでなく、壁などの損傷も抑えることができ、連続する余震にも効果があります。

建物自体を頑丈にして、地震の揺れに耐えるという構造で、構面に筋かいや補強金物等を用いて強化します。倒壊を防ぎますが、壁などに損傷を受ける可能性があります。

耐力壁の枚数に対するV-RECSの枚数の減衰効果

耐力壁	V-RECS	減衰効果
10枚	1枚	90
9枚	1枚	90
8枚	1枚	81
7枚	1枚	81
6枚	1枚	74
5枚	1枚	74
4枚	1枚	72

※ 耐震構造だけの建物で揺れを100とした場合

■構成部品

V-RECSダンパー	2個
V-RECSアーム	4本
V-RECSホールド	4個
ピン	10本
パイプ	4個
マツバピン	10本
ビス［HQ-65］	88本

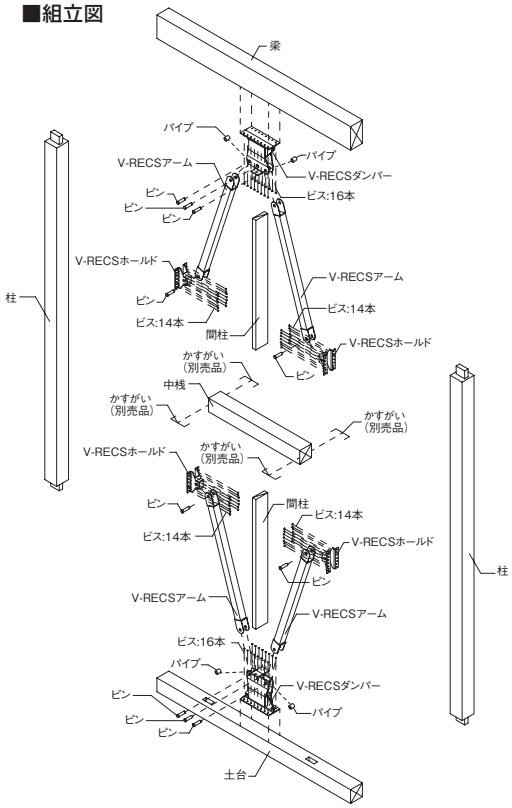
■別途ご用意頂くもの

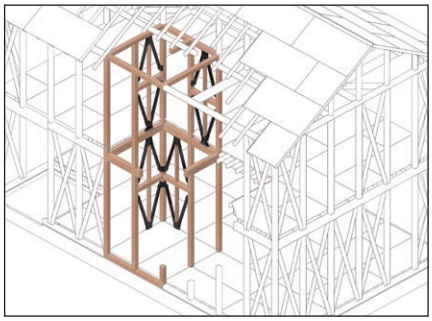
釘［N75］（間柱固定用）	8本
かすがい又は相応の接合具	4本
柱※ ［杉同等以上の構造用製材、105×105又は120×120］	−
中桟 ［杉同等以上の構造用製材、105（60）×105又は120（60）×120］	1本
間柱［杉同等以上］	1本

※追加増設する場合のみ、必要本数をご用意ください。

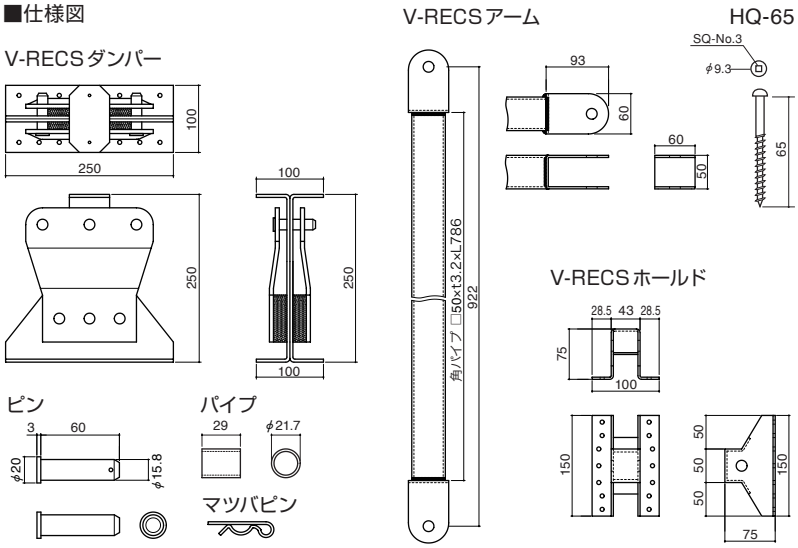
■施工図

■組立図





■仕様図



用 途

- V型のV-RECSアームと高減衰ゴムを組み込んだV-RECSダンパーで構成された制震装置です。

特 長

- V-RECSを耐力壁の1/5で設置した場合、阪神大震災レベルの揺れを約25%軽減できます。（※モデル物件にて検証）
- 変形率300%の高減衰ゴムを採用し、揺れを吸収します。
- 繰り返す余震に対応し、強い復元力を発揮します。
- 在来工法の通常の壁面に設置できるため作業効率がよく、メンテナンスが不要なため維持管理が負担になりません。
- コストや効果に合わせて設置数の増減が可能で、制震の効果レベルを選択できます。
- オプションで応答解析のシミュレーションも可能で制震効果を確認できます。

注意事項

- ご使用前に必ず設計・施工マニュアルをお読みください。
- 応答解析は別途費用がかかります。ご希望の方はお問い合わせください。
- 「V-RECS」の取付く柱の柱頭・柱脚には平12建告第1460号表三『は』以上の金物を取付けてください。
- 柱（追加増設の場合）、中桟、間柱は別途ご用意ください。
- かすがい、釘は別売品です。
- ビス接合用の四角ビット（#3）は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

V-RECS

型番	商品コード	梱包
V-RECS	900160	1セット

材　質	V-RECSダンパー/V-RECSアーム（角パイプ以外）/V-RECSホールド：JIS G 3101 SS400 V-RECSアーム（角パイプ）：JIS G 3444 STK400
表面処理	アクリル焼付塗装（黒）
セット構成	V-RECSダンパー×2個　V-RECSアーム×4本　V-RECSホールド×4個 ピン×10本　パイプ×4個　マツバピン×10本　ビス×88本

3 耐力壁ビス KS4041

国土交通省大臣認定を取得した構造合板耐力壁用のビスです。

CHROME FREE　壁倍率3倍用　壁倍率4.9倍用

バラ
KS-4041

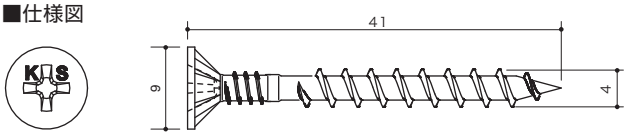
H23年11月1日発売予定

ロール
KS-4041（R）
※写真は2巻分です。

H23年11月1日発売予定

平テープ
KS-4041（T）

■仕様図



ビス頭に「KS」と刻印が入っているため、施工後も製品の識別が可能です。

■仕様一覧

耐力壁ビス KS4041ビスの標準仕様書

		壁倍率 3 倍用	壁倍率 4.9 倍用
仕様		大壁仕様／木造軸組耐力壁	大壁仕様／木造軸組耐力壁
面材		JAS 構造用合板 特類 2 級 9mm	JAS 構造用合板 特類 2 級 9mm
型番		KS-4041	KS-4041
ピッチ	外周	150mm	100mm
	中通	150mm	150mm
縁端距離		面材に対して 20mm以上	面材に対して 20mm以上
		軸材に対して 20mm以上	軸材に対して 20mm以上
倍率		3.0 倍	4.9 倍
国土交通省大臣認定番号		第 FRM-0284 号	第 FRM-0285 号

施工仕様と施工管理

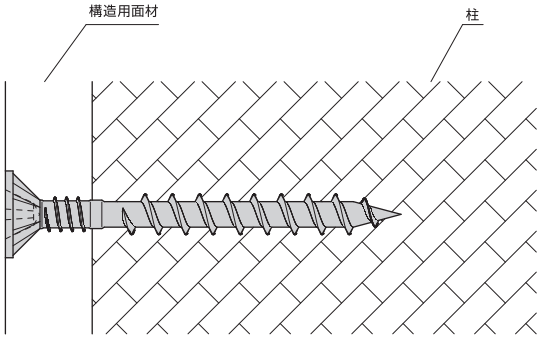
1）施工手順

①合板縁端部と軸組材の重ねしろは、45㎜程度とする。
②合板は、架構等に直接張る。
③合板外周部のビス間隔は、壁倍率3倍の場合は150㎜以下、壁倍率4.9倍の場合は100㎜以下とする。
④合板中通りのビス間隔は、150㎜以下とする。
⑤ビスの頭部は、合板表面部より深く打ちこまないように施工を行う。
⑥ビスを打ち損じた場合は、抜き取りビス間隔が広がらないように打つ。
⑦ビスは、機械にて施工する。

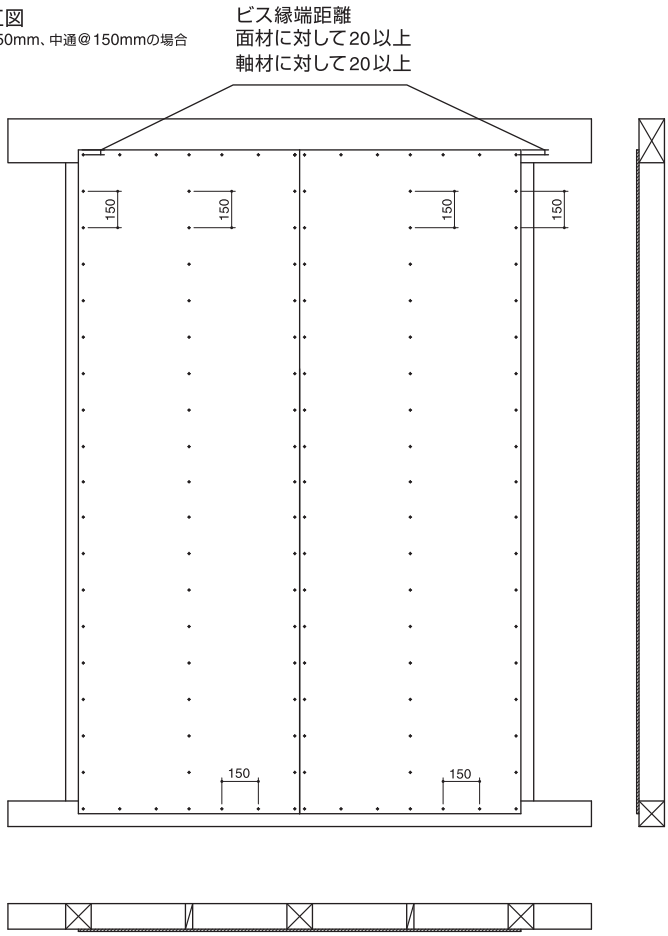
2）施工管理

①使用済み製品梱包箱を建築現場で保管し、指定されたビスで施工された事を確認する。
②指定されたビスが仕様通りに施工されたことを、目視によって確認する。
③当該耐力壁の壁倍率とビス施工方法が目視で確認できるような処置を行う。
例）①当該壁毎に壁倍率、外周部ビス間隔、中通りビス 間隔をマジック等で 記入する。
例）②当該壁毎に壁倍率、外周部ビス間隔、中通りビス 間隔が記載されたシールを貼りつけるなどの施工管理を行い使用してください。
※詳しくは、取扱説明書等をご確認ください。

■納まり図



■施工図
外周@150mm、中通@150mmの場合



耐力壁ビス KS4041　※販売最小単位はバラ・平テープは小箱単位、ロールはケース単位です。

型番	商品コード	梱包
KS-4041	**114450**	1,000本×6小箱/ケース
KS-4041(T)	**114460**	1,000本(50本×20連)×10小箱/ケース
KS-4041(R)	**114470**	2,000本(100本×20巻)/ケース

材　質	JIS G 3507-2 SWCH18A相当
表面処理	ジオメットまたはプロイズ
承認等	国土交通大臣認定 認定番号 FRM-0284 / FRM-0285

用途
- 構造用面材と軸組材を緊結するビスです。

特長
- クロムフリーを実現し環境に配慮した製品となっております。
- 特殊な焼入れのためにビスに粘りがあります。
- 施工をしやすくするためにビット頭は、十字穴を採用しました。
- 特殊フレキ刃によりビス頭が綺麗に沈みます。
- フランジがバリ・ささくれを抑えます。
- 国土交通省大臣認定を取得しておりますので確認申請もスムーズです。

使用方法
- 決められたピッチ以下でビスを打ち込んでください。
- 十字ビットを使用してください。

注意事項
- 決められた施工手順、施工管理に基づいて施工してください。
- 十字ビットは、市販品をご使用ください。
- 取扱いに関する注意事項は37ページをご参照ください。

4 1.5倍用ハイパーガセット

他の金物と干渉しづらい壁倍率1.5倍用の筋かい金物です。

内付け・外付け兼用
耐力確認試験済

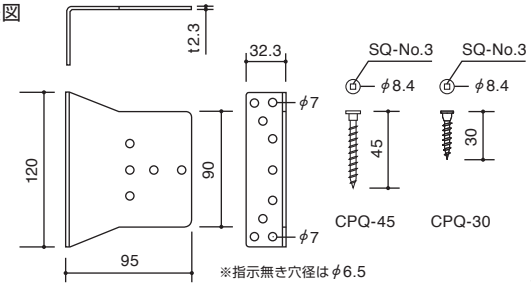
告示 平12建告第1460号第1号
八 対応

壁倍率1.5倍用

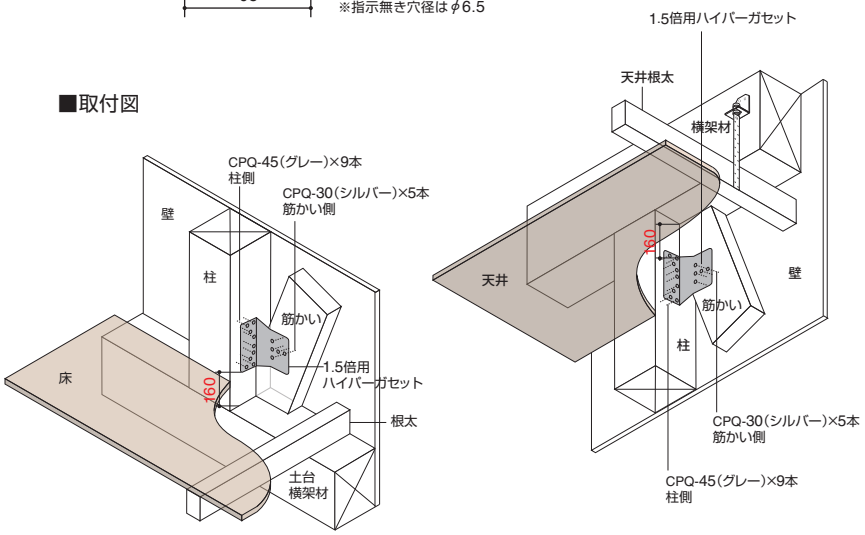
30㎜まで
床合板対応

専用ビス

■仕様図



■取付図



1.5倍用ハイパーガセット

型番	商品コード	梱包
HG-15	092200	50個/ケース

材　質	JIS G 3302 SGH340
表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板(Z27)
付属品	柱側専用ビス……CPQ-45(グレー)×9本 筋かい側専用ビス…CPQ-30(シルバー)×5本 専用ビット125㎜(1ケースにつき1本)
承認等	ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP06-KT119/HP06-KT061/HP06-KT062/HP06-KT063

用途

- 壁倍率1.5倍用筋かい(90・105×30)を容易かつ強固に接合する金物です。

特長

- 全ての穴にビスを打つため、打ち忘れや打ち間違いを防ぐことができます。
- 土台・横架材から離れた位置に接合でき、かつ柱側専用ビスが45㎜と短いため、金物工法用ドリフトピン等と干渉しづらくなりました。
- 土台・横架材から離れた位置に接合できるため、かど金物との干渉を回避できます。
- 付属の専用ビットにより、金物と電動工具の干渉が少なく、ビスの打ち込みがスムーズに行えます。
- 筋かいを突き付けで接合できますので、柱・横架材を欠き込む必要がありません。
- 左右対称なので、右勝手・左勝手がなくとても便利です。

使用方法

❶筋かい定規等で開口に合わせた角度で筋かいをカットします。
❷筋かいと土台を面一に合わせ、本体を土台・横架材の面から160㎜離れた位置に合わせます。
❸付属のビスで柱と筋かいを接合します。

注意事項

- 本体の取付け高さに注意してください。
- 壁の片面のみから施工する場合は、必ず外使いとしてご使用ください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- 本製品とは別に柱頭・柱脚の仕口に必要な金物を取付けてください。
- ビスをまっすぐ打ち込むために125㎜以上のビットの使用をお勧めします。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

5 ハイパーガセット・Ⅱ

横架材から離れた場所で取付可能な２倍用の筋かい金物です。

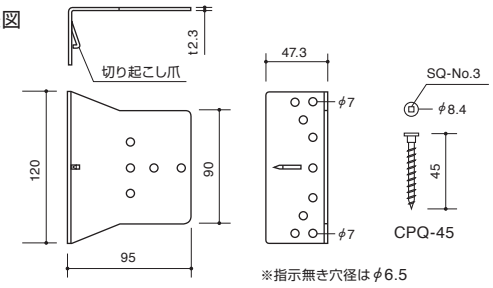
内付け・外付け兼用
耐力確認試験済

壁倍率 2倍用
30mmまで 床合板対応
四角穴 専用ビス

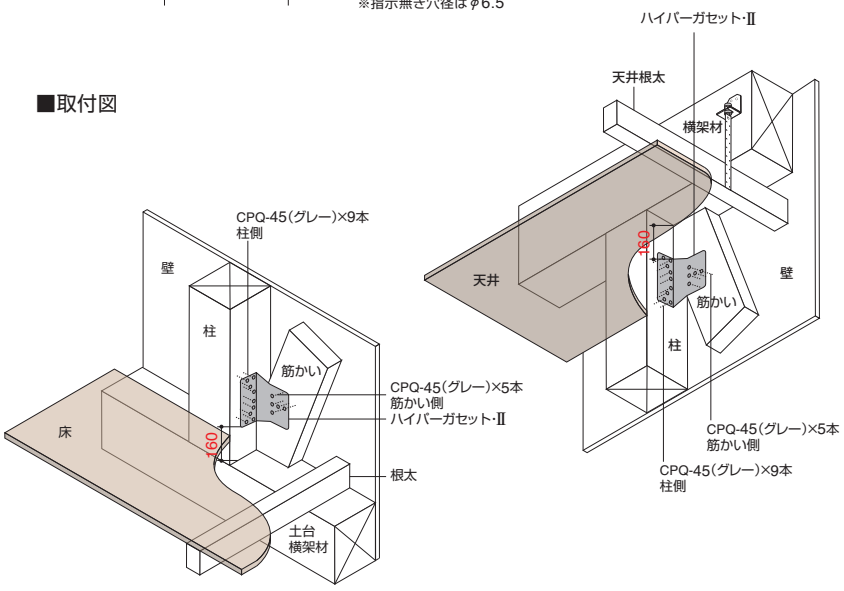
告示 平12建告第1460号第1号
二 対応

ビス
CPQ-45(グレー)

■仕様図



■取付図



ハイパーガセット・Ⅱ

型番	商品コード	梱包
HG-Ⅱ	092300	50個/ケース

材　質	JIS G 3302 SGH340
表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板(Z27)
付属品	ビスCPQ-45(グレー)×14本 専用ビット125㎜(1ケースにつき1本)
承認等	ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP06-KT120/HP06-KT121/HP06-KT066/HP06-KT067

用途

- 壁倍率２倍用筋かい(90・105×45)を容易かつ強固に接合する金物です。

特長

- 全ての穴にビスを打つため、打ち忘れや打ち間違いを防ぐことができます。
- 仮止めの爪がついているため、柱に金物を安定した状態で施工できます。
- 土台・横架材から離れた位置に接合でき、かつ柱側専用ビスが45㎜と短いため、金物工法用ドリフトピン等と干渉しづらくなりました。
- 土台・横架材から離れた位置に接合できるため、かど金物との干渉を回避できます。
- 付属の専用ビットにより、金物と電動工具の干渉が少なく、ビスの打ち込みがスムーズに行えます。
- 筋かいを突き付けで接合できますので、柱・横架材を欠き込む必要がありません。
- 左右対称なので、右勝手・左勝手がなくとても便利です。

使用方法

❶筋かい定規等で開口に合わせた角度で筋かいをカットします。
❷筋かいと土台を面一に合わせ、本体を土台・横架材の面から160㎜離れた位置に合わせます。
❸柱側の切り起こし爪で仮止めし、付属のビスで柱と筋かいを接合します。

注意事項

- 本体の取付け高さに注意してください。
- 壁の片面のみから施工する場合は、必ず外使いとしてご使用ください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- 本製品とは別に柱頭・柱脚の仕口に必要な金物を取付けてください。
- ビスをまっすぐ打ち込むために125㎜以上のビットの使用をお勧めします。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

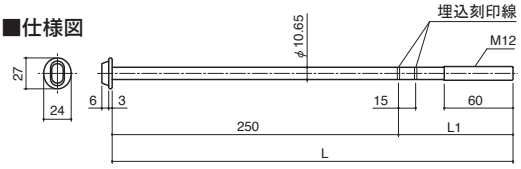
1 ユニハットアンカーボルト

〔Zマーク アンカーボルト（M12）同等認定品〕

先端が笠形になっており埋込みやすく、
さらに埋込み位置に目印（刻印）が付いており施工性が向上します。

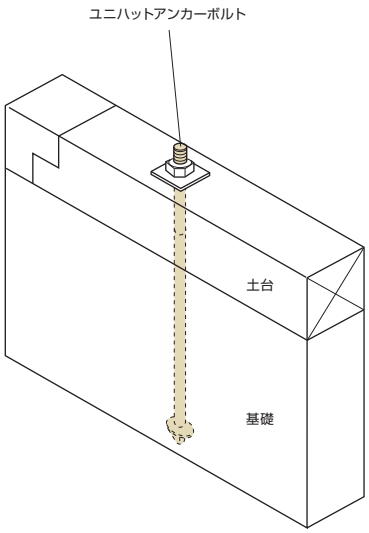
M12

■仕様図



型番	L	L1
UHA-35	350	100
UHA-40	400	150
UHA-45	450	200

■取付図



ユニハットアンカーボルト

型番	サイズ	商品コード	梱包
UHA-35	M12×350	**015200**	50本/ケース
UHA-40	M12×400	**015201**	
UHA-45	M12×450	**015202**	

材　質	JIS B 1180（六角ボルト）に規定する機械的性質の強度区分4.6に適合する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ（JIS H 8610　2種2級Ep-Fe/Zn5/CM2）
付属品	ナット×1個
承認等	（財）日本住宅・木材技術センター/Zマーク同等認定品 D11M09-01/D11H01-09

用途

- 基礎と土台等の緊結に使用します。

特長

- 先端を笠形（面形状）にしておりますので、優れた引抜き力を発揮します。
- 先端部の形状が笠形のため、向きを気にする必要がなく、施工性に優れています。

使用方法

❶本体の刻印線を目安に埋め込みます。
❷別売品の支持器具を使用することで、施工性がさらに向上します。

注意事項

- 基礎コンクリートへの埋め込み深さはM12で250ミリ以上必要です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

2 コルトアンカーボルト

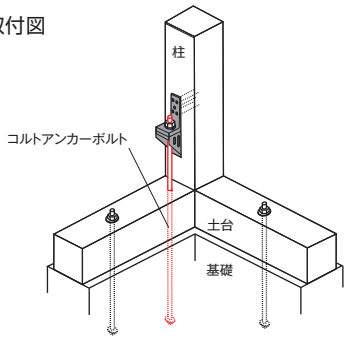
M16タイプで埋め込み深さは250mm(笠部分含む)でOK!!
施工性が格段に向上します。

M16

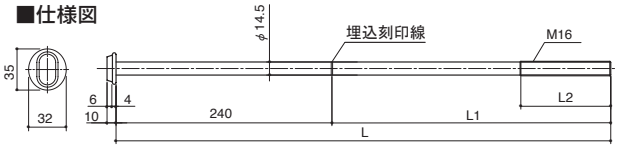
CA16-55

CA16-80

■取付図

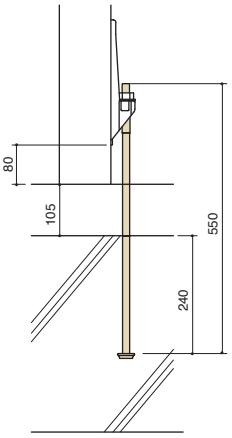


■仕様図

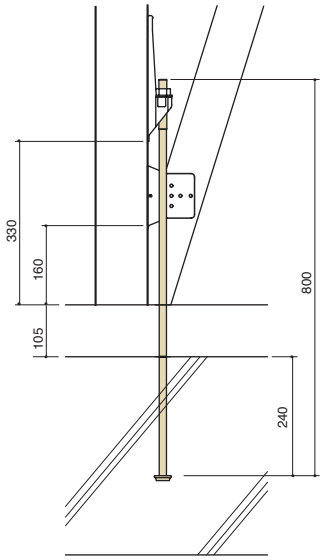


型番	L	L1	L2
CA16-55	550	310	100
CA16-80	800	560	100

■納まり図



L=550タイプ（標準サイズ）



L=800タイプ（筋かい対応サイズ）

用 途

- 基礎と土台およびホールダウン金物等の緊結に使用します。

特 長

- M16タイプで埋め込み深さは全長250mmで施工可能です。(アンカー首下240mm十笠部10mmの計250mm)
- 先端部を笠形（面形状）にすることで引抜き力が向上し、埋め込みは短く、尚且つ軸細（φ14.5）にすることが可能になりました。
- 先端部の形状が笠形のため、向きを気にする必要がなく、施工性に優れています。

使用方法

❶本体の刻印線を目安に埋め込みます。埋め込み深さは、基礎天端からアンカー首下まで240mm以上を確保してください。

❷別売品の支持器具を使用することで、施工性がさらに向上します。

注意事項

- 軸径がφ14.5のため、アンカーボルト支持器具「グリッパー」TG1610D、TG1613D、TG1616Dのご使用はお控えください。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

仕様条件

埋め込み深さ(mm)	240以上
コンクリート幅(mm)	135以上
コンクリート強度（N/mm²）	Fc=21以上

コルトアンカーボルト耐力試験

短期許容引張耐力

37.0kN※

※各種合成構造設計指針及び（財）建材試験センター品質性能試験報告書より算出。
※上記耐力は左の仕様条件において有効です。
※詳しい算出方法等はカネシンCSセンターまでお問合せください。

コルトアンカーボルト

型番	サイズ	商品コード	梱包
CA16-55	M16×550	**015701**	20本/ケース
CA16-80	M16×800	**015702**	

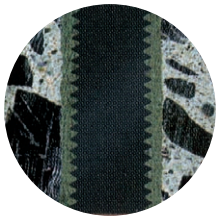
材　質	JIS B 1180（六角ボルト）に規定する機械的性質の強度区分4.6に適合する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ（JIS H 8610　2種2級Ep-Fe/Zn5/CM2）
付属品	ナット×1個
承認等	（財）建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第10A0807号

3 HPアンカー

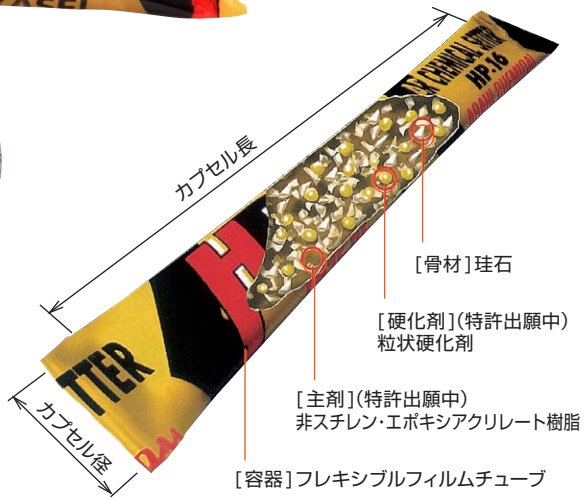
コンクリート部への後施工用アンカーです。

HP-16

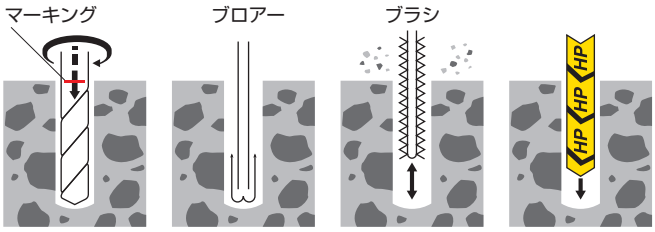
HP-12

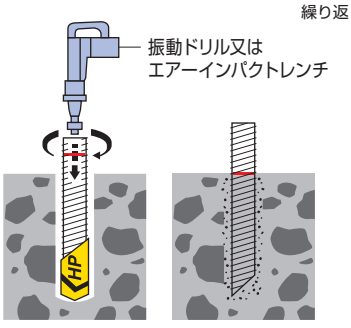


固着状態



■施工方法





ケミカルボルト(片面カット・ナット2個付)(別売品)
長さをご指定ください。

寸切ボルトでは主剤と
硬化剤が十分混合されず、
固着強度が低下します。

■硬化時間の目安

温度(℃)	-5	0	5	10	15	20	25	30
気中(分)	240	120	60	40	20	18	15	10
水中(分)	—	240	120	80	40	36	30	20

■製品規格(標準施工条件)

型 番	カプセル径 (mm)	カプセル長 (mm)	容 量 (cm²)	使用ボルト	穿孔径 (mm)	穿孔長 (mm)	最大引張荷重 (Fc=210KgF/cm²) KN(kgf)	長期許容引張荷重 KN(kgf)	短期許容引張荷重 KN(kgf)
HP-12	12	120	9	M12	14	100	71 (7,240)	14.9 (1,520)	22.4 (2,280)
HP-16	15	150	18	M16	18	130	122 (12,400)	25.4 (2,590)	38.1 (3,880)

HPアンカー

型番	商品コード	梱包
HP-12	806000	25本/小箱
HP-16	806100	

用 途

- コンクリート部への後施工用アンカーです。

特 長

- 高性能樹脂「エポキシアクリレート樹脂」の採用により、固着力を向上させました。
- フレキシブルなフィルムチューブで取扱い性が容易な上、以前のようなガラス容器の割れやケガを追放し、施工時の抵抗も大幅に改善しました。
- カプセルの先端形状を鋭角にすることで孔内への挿入性が向上しました。
- 非ステレン系モノマーの採用により、いやな臭いが減少しました。
- 粒状硬化剤をカプセル全体に分散させたことで、ボルト打設時の樹脂との混合ムラを解消しました。
- 2年間の長期保存を可能にしました。

使用方法

- 施工要領書をご参照ください。

注意事項

- 使用するボルトは埋込み側の先端を45°に切断したものを使用してください。
- 硬化時間内はボルトを動かさないでください。固着強度が低下します。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

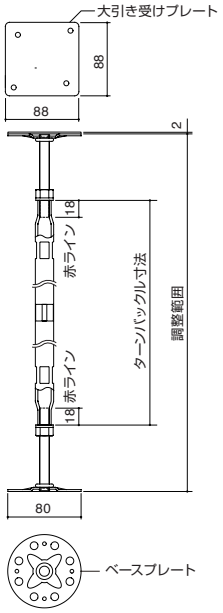
4 プロウェーブ鋼製束

新開発の特殊なネジ(アイビーネジ)で高さ調整がスピーディー!
簡単施工で、基礎と大引きを一体化します。

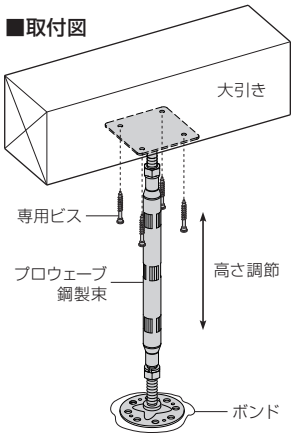
CHROME FREE

プロイズ

■仕様図



■取付図



型　番	調整範囲
PZ-PW230P	170～242
PZ-PW270P	220～330
PZ-PW330P	280～390
PZ-PW370P	320～430
PZ-PW430P	380～490
PZ-PW510P	460～570

推奨ボンド
ボンド床職人 KU928C-Xアプリパック
(容量600ml)
(別売品)

F☆☆☆☆

用 途

- 基礎コンクリートの土間に設置し大引きを支えます。

特 長

- クロムフリーの高耐食金属表面処理の「プロイズ」を採用し、環境に配慮した製品です。
- 新開発の特殊なネジ(アイビーネジ)を採用し、従来のネジの倍速で高さ調節が可能です。

使用方法

❶大引きの下になる面に本体の大引き受けプレートをあてがい、専用取付ビスにて、しっかりと固定してください。
❷ベースプレートを上げ、コンクリート面に接着剤を適量塗付し、ベースプレートをおろし、しっかりと固定してください。※状況により、コンクリート釘(9#38mm)を2本程度ご利用ください。
❸ターンバックル丸パイプのくぼみにスパナを差し込み、大引きの高さ調節を行ってください。右廻りで高く、左廻りで低くなります。
❹高さ調整後、ターンバックル丸パイプ又、六角ナットにスパナを差し込み、上部のボルト部分をしっかりと固定してください。

注意事項

- 上部六角ナット又、下部六角ナットの締め付けが不足した場合は床鳴りの原因となるため、共に六角ナットの締め付けについては必ず確認してください。
- 廻す際に、上下のレッドラインが見えたらその上のサイズの製品をお使いください。
- 部分的に建築資材(石膏ボード等)の重量物を置いた場合は、再度高さ調整と締め付けの確認を必ず行ってください。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

プロウェーブ鋼製束耐力試験

型番	圧縮試験(最大荷重平均)
PZ-PW370P	**36.6kN**
PZ-PW510P	**36.4kN**

(財)建材試験センター

プロウェーブ鋼製束

型番	商品コード	梱包	型番	商品コード	梱包
PZ-PW230P	170020	25個/ケース	PZ-PW370P	170023	25個/ケース
PZ-PW270P	170021		PZ-PW430P	170024	
PZ-PW330P	170022		PZ-PW510P	170025	

材　質	ターンバックル部:JIS G 3461 STB410相当 ベース部:JIS G 3101 SS400相当 ねじ部:JIS G 3507-1 SWRCH8A相当 ナット:JIS G 3507-1 SWRCH10A相当 スプリングワッシャー:JIS G 3506 SWRH72相当
表面処理	プロイズ処理
付属品	専用ビス(L=45mm)×4本
荷重試験	(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第09A2749号/第09A2750号

ボンド床職人 KU928C-Xアプリパック

型番	商品コード	梱包
KU928C-Xアプリパック	780650	12個/ケース

1 ライトコーナー

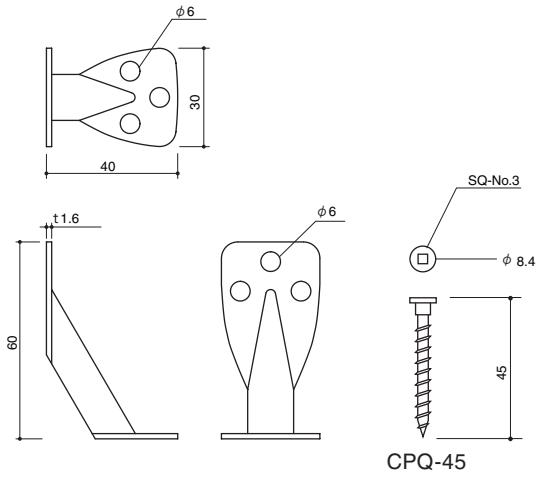
軽量コンパクトで持ち運びに便利です。

告示 平12建告第1460号第2号
は 対応

※短期基準接合引張耐力にて
ご使用の場合は、下記数値を
ご参照下さい。

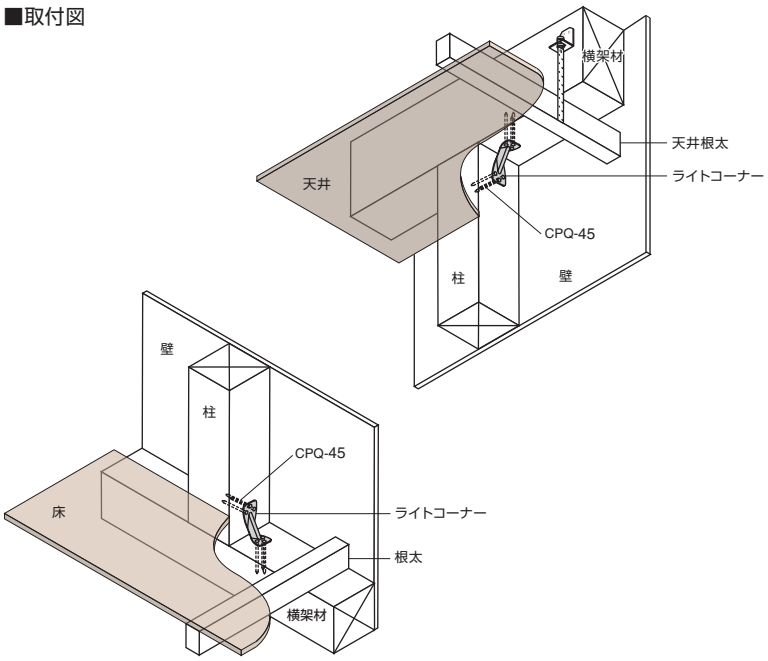
ビスCPQ-45(グレー)

■仕様図



CPQ-45

■取付図



用 途

- 柱と土台、柱と横架材の接合に使用します。

特 長

- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- 本体幅が30mmで納まりが良く、施工性が向上しました。
- 板厚が1.6mmと薄く軽量コンパクト設計なので、現場での持ち運びが楽に行えます。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。
- 本体・ビス共にクロムフリーを実現し、環境に配慮した製品となっております。

使用方法

- 本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

注意事項

- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

ライトコーナー耐力試験

型番		短期基準接合引張耐力(Pot)	接合部倍率(N値)
L-CP	中柱	6.3kN	1.1
	隅柱	5.8kN	1.0

ハウスプラス確認検査(株)

ライトコーナー

型番	商品コード	梱包
L-CP	001020	100個/ケース

材　質	ZAM®※(MSM-HC-DZC90もしくはMSM-CC-DZC90)
表面処理	溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	ビスCPQ-45 (グレー) ×6本
承認等	ハウスプラス確認検査 (株) 性能試験 HP11-KT010 / HP11-KT012

※1)「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2)「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

2 ライトコーナー合板タイプ

軽量コンパクトで持ち運びに便利です。床合板の上からも接合できます。

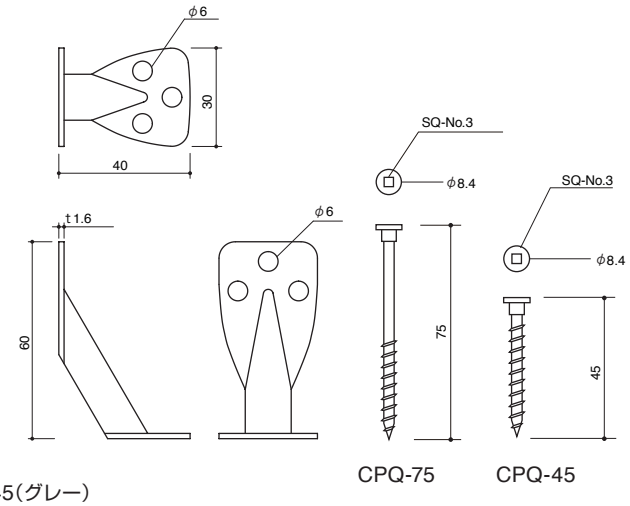
告示 平12建告第1460号第2号
は 対応

※短期基準接合引張耐力にて
ご使用の場合は、下記数値を
ご参照下さい。

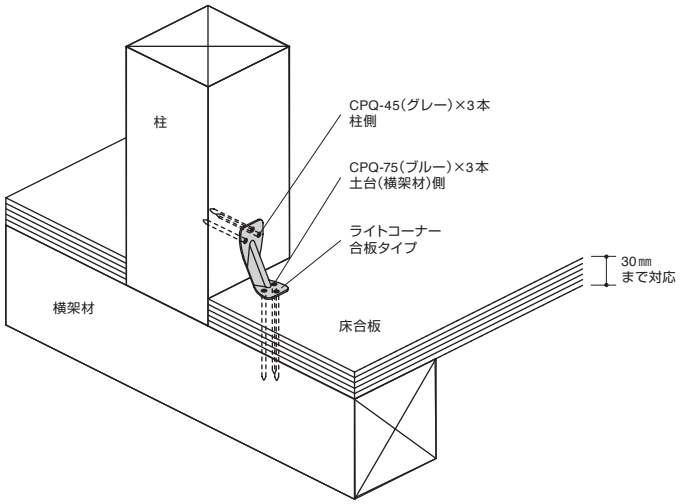
ビスCPQ-45(グレー)

ビスCPQ-75(ブルー)

■仕様図



■取付図



用 途

- 柱と土台、柱と横架材の接合に使用します。

特 長

- 床合板(30mmまで)の上から接合できますので、面倒な床合板の欠き込みが不要です。
- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- 本体幅が30mmで納まりが良く、施工性が向上しました。
- 板厚が1.6mmと薄く軽量コンパクト設計なので、現場での持ち運びが楽に行えます。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。
- 本体・ビス共にクロムフリーを実現し、環境に配慮した製品となっております。

使用方法

- 本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

注意事項

- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

ライトコーナー合板タイプ耐力試験

型番		短期基準接合引張耐力(Pot)	接合部倍率(N値)
L-CP-G	中柱	6.0kN	1.1
	隅柱	5.9kN	1.1

ハウスプラス確認検査(株)

ライトコーナー合板タイプ

型番	商品コード	梱包
L-CP-G	001030	100個/ケース

材　質	ZAM®※(MSM-HC-DZC90もしくはMSM-CC-DZC90)
表面処理	溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	柱側専用ビス……CPQ-45(グレー)×3本 土台(横架材)側専用ビス…CPQ-75(ブルー)×3本
承認等	ハウスプラス確認検査(株) 性能試験 HP11-KT011 / HP11-KT013

※1)「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2)「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

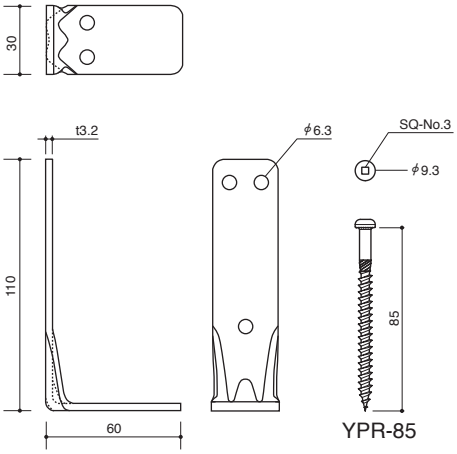
3 ハイパースリム・Ⅱ

形状がスリムで10kN用ホールダウン金物の代わりに使用できます。
また、隅柱にも対応しています。

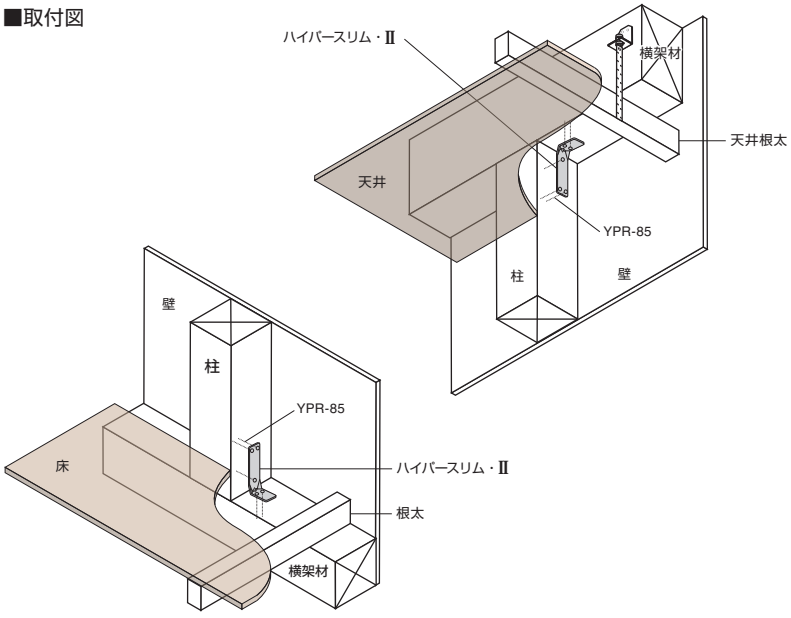
告示 平12建告第1460号第2号
へ 対応
※短期基準接合引張耐力にて
ご使用の場合は、下記数値を
ご参照下さい。

ビスYPR-85（グレー）

■仕様図



■取付図



用 途

- 柱と土台、柱と横架材の接合に使用します。

特 長

- 本体の幅が30㎜のため、真壁等で筋かいとの取り合いの場合に最適です。
- ホールダウン金物10kNを使用しなければならない柱頭・柱脚の接合に使用できます。
- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。

使用方法

- 本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

注意事項

- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット（#3）は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

ハイパースリム・Ⅱ 耐力試験

型番		短期基準接合引張耐力（Pot）	接合部倍率（N値）
HS10-Ⅱ	中柱	10.9kN	2.0
	隅柱	10.4kN	1.9

ハウスプラス確認検査（株）

ハイパースリム・Ⅱ

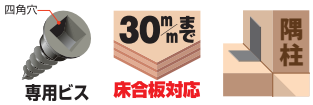
型番	商品コード	梱包
HS10-Ⅱ	002700	50個/ケース

材　質	ZAM®※（MSM-HK400-DA90）
表面処理	溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	ビスYPR-85（グレー）×5本
承認等	ハウスプラス確認検査（株）性能試験 HP10-KT039 / HP10-KT041

※1）「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2）「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

4 ハイパースリム・Ⅱ合板タイプ

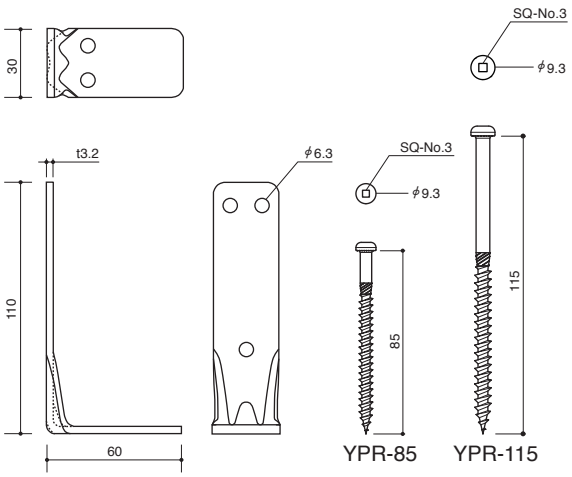
形状がスリムで10kN用ホールダウン金物の代わりに使用でき、
合板の上からでも施工が可能です。



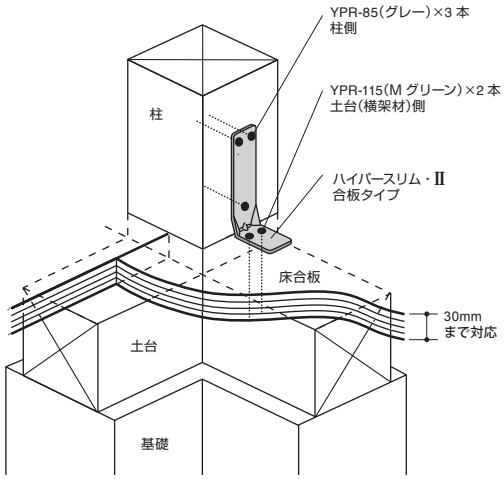
告示 平12建告第1460号第2号
対応
※短期基準接合引張耐力にて
ご使用の場合は、下記数値を
ご参照下さい。

ビスYPR-85(グレー)
ビスYPR-115(Mグリーン)

■仕様図



■取付図



用途

- 柱と土台、柱と横架材の接合に使用します。

特長

- 床合板(30㎜)の上から接合できますので、面倒な床合板の欠き込みが不要です。
- 本体の幅が30㎜のため、真壁等で筋かいとの取り合いの場合に最適です。
- ホールダウン金物10kNを使用しなければならない柱頭・柱脚の接合に使用できます。
- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。

使用方法

- 本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

注意事項

- 合板を使用しない場合は土台及び梁成は120㎜以上としてください。土台(横架材)側専用ビスが115㎜のため貫通します。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

ハイパースリム・Ⅱ合板タイプ耐力試験

型番		短期基準接合引張耐力(Pot)	接合部倍率(N値)
HS10-Ⅱ-G	中柱	10.8kN	2.0
	隅柱	10.0kN	1.8

ハウスプラス確認検査(株)

ハイパースリム・Ⅱ合板タイプ

型番	商品コード	梱包
HS10-Ⅱ-G	002710	50個/ケース

材質	ZAM®※(MSM-HK400-DA90)
表面処理	溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	ビスYPR-85(グレー)×3本 ビスYPR-115(Mグリーン)×2本
承認等	ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT040 / HP10-KT042

※1)「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2)「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

5 ビッグコーナー 15

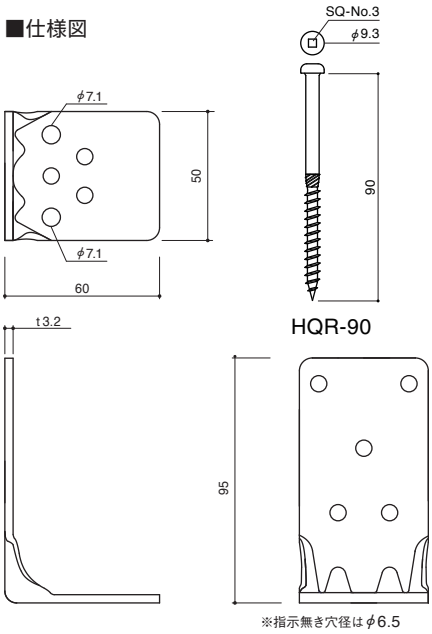
柱と横架材等を補強する金物で、リフォーム等にも最適です。

告示 平12建告第1460号第2号
と 対応

※短期基準接合引張耐力にて
ご使用の場合は、下記数値を
ご参照下さい。

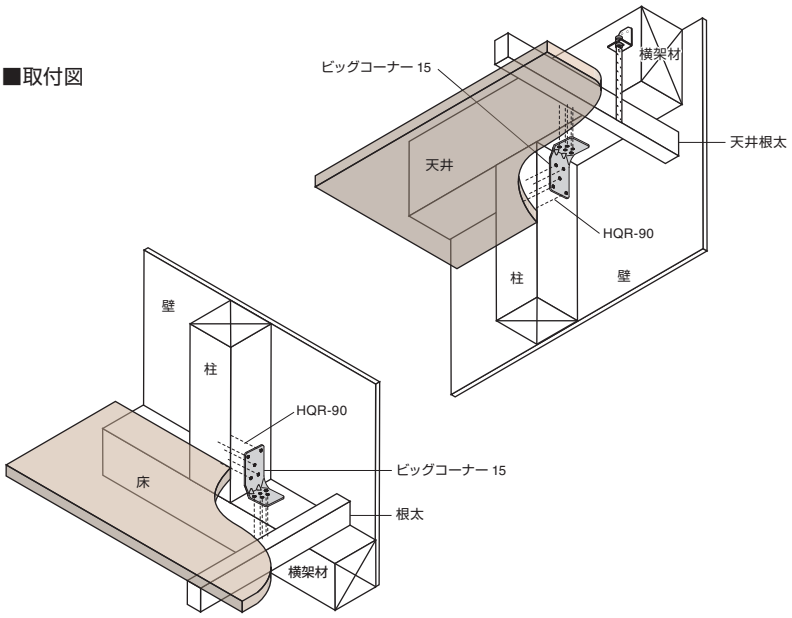
ビス
HQR-90(Mピンク)

■仕様図



※指示無き穴径はφ6.5

■取付図



用 途

- 柱と横架材等を接合する金物です。

特 長

- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。

使用方法

- 本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

注意事項

- 1階柱脚部に使用する場合は、近くにアンカーボルトの増設等もご検討ください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

ビッグコーナー15耐力試験

型番		短期基準接合引張耐力(Pot)	接合部倍率(N値)
BIG15	中柱	16.2kN	3.0
	隅柱	15.3kN	2.8

(財)建材試験センター

ビッグコーナー15

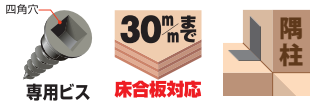
型番	商品コード	梱包
BIG15	002900	50個/ケース

材　質	ZAM®※(MSM-HC-DA90)
表面処理	溶融亜鉛 -6% アルミニウム -3% マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	ビスHQR-90(Mピンク)×10本
承認等	(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第 07A2489号 / 第 08A1846 号

※1)「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2)「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛 Zn ーアルミニウム Alーマグネシウム Mg 合金めっき鋼板の商品名です。

6 ビッグコーナー15合板タイプ

合板の上から施工できるので面倒な欠き込みが不要で作業時間を短縮します。



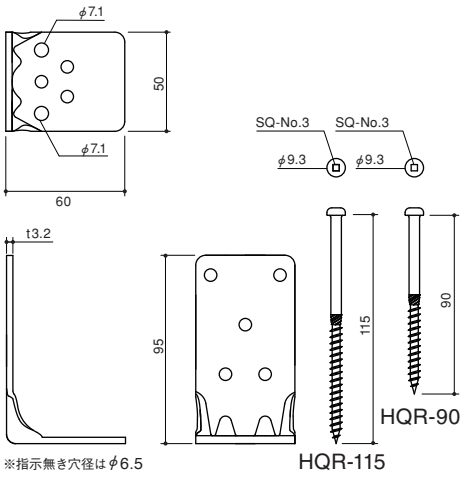
告示 平12建告第1460号第2号
と 対応

※短期基準接合引張耐力にて
ご使用の場合は、下記数値を
ご参照下さい。

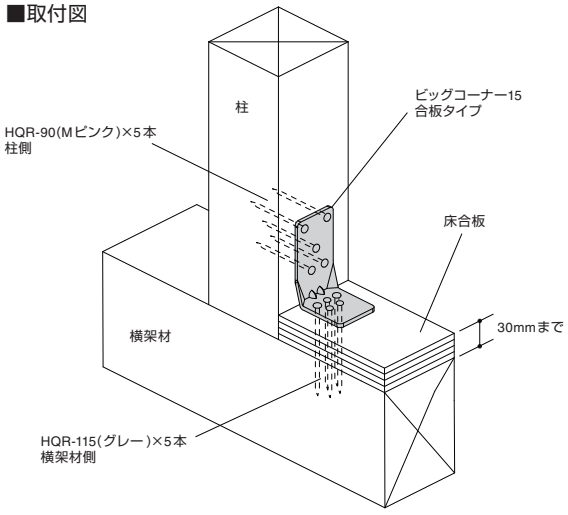
ビス
HQR-90(Mピンク)

ビス
HQR-115(グレー)

■仕様図



■取付図



用 途

- 柱と横架材等を接合する金物です。

特 長

- 床合板(30mmまで)の上から接合できますので、面倒な合板の欠き込みが不要です。
- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。

使用方法

- 本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

注意事項

- 1階柱脚部に使用する場合は、近くにアンカーボルトの増設等もご検討ください。
- 合板を使用しない場合は土台及び梁成は120mm以上としてください。土台(横架材)側専用ビスが115mmのため貫通します。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

ビッグコーナー15合板タイプ耐力試験

型番		短期基準接合引張耐力(Pot)	接合部倍率(N値)
BIG15-G	中柱 隅柱	15.1kN	2.8

(財)建材試験センター

ビッグコーナー15合板タイプ

型番	商品コード	梱包
BIG15-G	002950	50個/ケース

材　質	ZAM®※(MSM-HC-DA90)
表面処理	溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	柱側専用ビス……HQR-90(Mピンク)×5本 土台(横架材)側専用ビス…HQR-115(グレー)×5本
承認等	(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第08A0294号 / 第08A1847号

※1)「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2)「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛 Zn ーアルミニウム Al ーマグネシウム Mg 合金めっき鋼板の商品名です。

7 ハイパーホールダウン23 / ハイパーホールダウン33

クロムフリーのビスどめタイプのホールダウン金物です。

CHROME FREE

四角穴
専用ビス

HPH-23

10kN/15kN/20kN用
告示 平12建告第1460号第2号
ち 対応

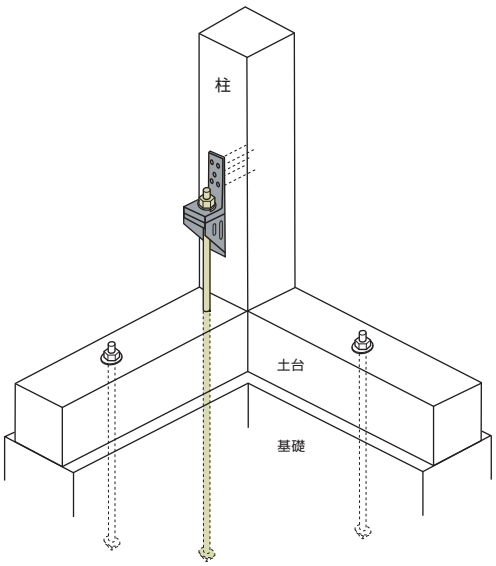
※短期基準接合引張耐力にてご使用の場合は、右記数値をご参照下さい。

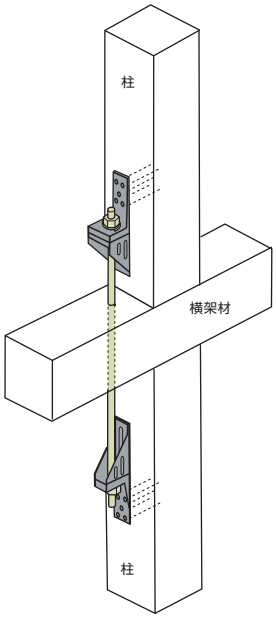
HPH-33

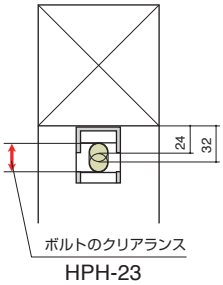
25kN/30kN用
告示 平12建告第1460号第2号
ぬ 対応

※短期基準接合引張耐力にてご使用の場合は、右記数値をご参照下さい。

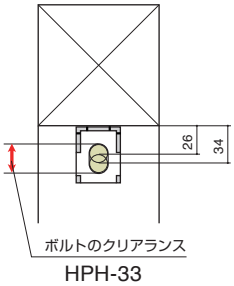
■取付図





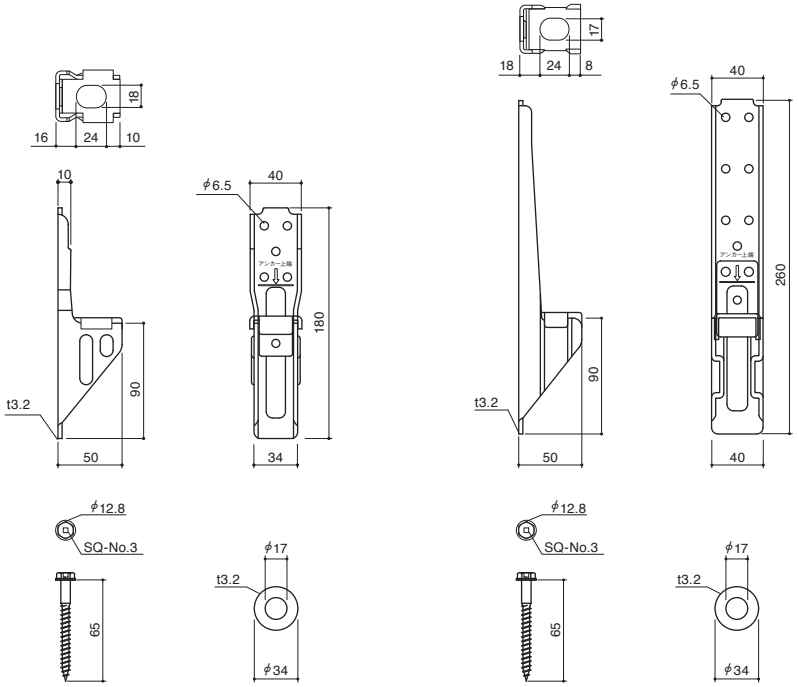


HPH-23



HPH-33

■仕様図



推奨アンカーボルト

25kN以上のホールダウンをご使用の際は、弊社オリジナルアンカー“コルトアンカーボルト”（P.19参照）をお奨めいたします。

仕様条件

埋め込み深さ(mm)	240以上
コンクリート幅(mm)	135以上
コンクリート強度（N/mm²）	Fc=21以上

コルトアンカーボルト耐力試験

短期許容引張耐力
37.0kN※

※各種合成構造設計指針及び（財）建材試験センター品質性能試験報告書より算出。
※上記耐力は左の仕様条件において有効です。
※詳しい算出方法等はカネシンCSセンターまでお問合せください。

ハイパーホールダウン23 / ハイパーホールダウン33耐力試験

型番	短期基準接合引張耐力（Pot）	接合部倍率（N値）
HPH-23	**23.7kN**	**4.4**
HPH-33	**33.5kN**	**6.3**

ハウスプラス確認検査(株)

ハイパーホールダウン23 / ハイパーホールダウン33

型番	商品コード	梱包
HPH-23	**603500**	40個/ケース
HPH-33	**603530**	30個/ケース

材　質	ZAM®※(MSM-HC-DZC90)
表面処理	溶融亜鉛 -6% アルミニウム -3% マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	HPH-23：ビスHR-65（グレー）×5本　丸座金×1個 HPH-33：ビスHR-65（グレー）×9本　丸座金×1個
承認等	ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP07-KT006 / HP07-KT050

※1）「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2）「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

用途

- 土台・基礎と柱の緊結、横架材と柱の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用します。

特長

- 本体・ビス・丸座金の全てにおいてクロムフリーを実現し、環境に配慮した製品となっております。
- 溶接レス製品です。
- 取付け位置を示す刻印があるため、施工性が向上しました。
- 付属ビス(HR-65)には廻し過ぎ防止機能がついているため、過剰の締付けを抑えることができます。
- 付属ビス(HR-65)は六角10mmソケットでも施工可能です。

使用方法

❶土台部のアンカーボルト(M16)や上下階の両引きボルト(M16)等に本体を通します。
❷本体にある「アンカー上端」の刻印にアンカーボルトの先端を合わせ、位置決めします。
❸付属のビスで本体を柱に取り付けます。
❹付属の丸座金を入れ、ナットで締付けてください。

注意事項

- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)、六角10mmソケットは別売品です。
- 弊社推奨アンカーボルト“コルトアンカーボルトM16”以外のZマークアンカーボルトM16等を使用の際のアンカーボルトの埋め込み長さは付着強度を確保するため、下記の通りになります。

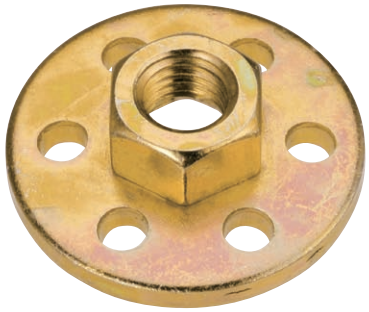
型番	短期基準引張耐力	アンカーボルトの埋め込み長さ
HPH-23	10.0 kN	360mm 以上
	15.0 kN	
	20.0 kN	
	23.7 kN	
HPH-33	25.0 kN	360mm 以上
	30.0 kN	427mm 以上※
	33.5 kN	477mm 以上※

※上記の埋め込み長さは建築基準法施行令第91条1項の短期許容応力度（付着）を用い引張耐力に必要な表面積より算出しています。

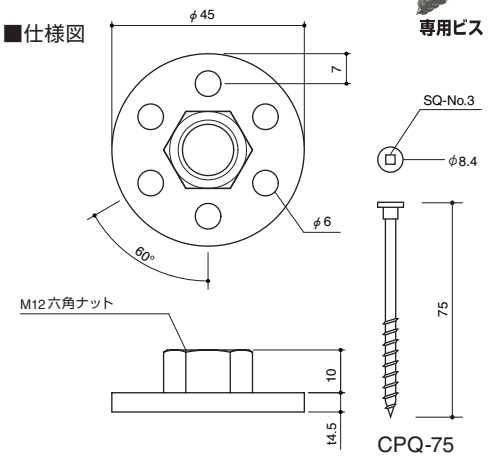
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

1 レンコン金物

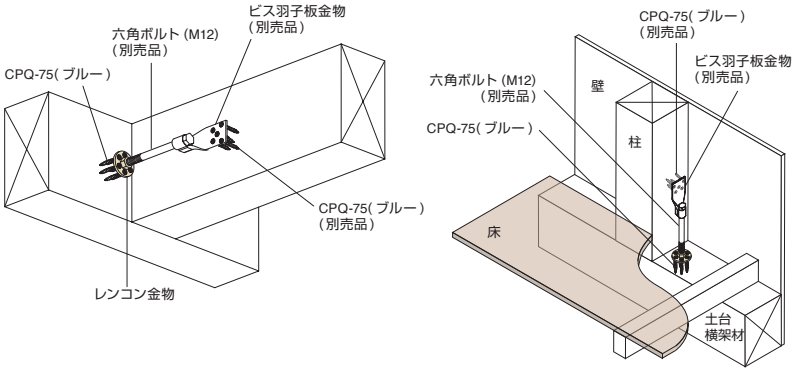
ボルト穴不要!!梁や柱に貫通穴を開けずに取付可能なため、リフォームに最適です。
また、柱の引抜き防止金物として狭いスペースでも利用可能です。



■仕様図



■取付図



レンコン金物羽子板セット
「ビス羽子板金物」「六角ボルト」を併用することで羽子板ボルトとして
ご使用いただけます。

レンコン金物　　ビス羽子板金物　　六角ボルト
L=125

レンコン金物耐力試験(羽子板セットの場合)

型番	短期基準接合引張耐力(Pot)
羽子板セット	**11.8kN**

ハウスプラス確認検査(株)

レンコン金物

型番	商品コード	梱包
レンコン金物	**035500**	200個/ケース

材　質	板　部:JIS G 3131 SPHC ナット:JIS B 1181(六角ナット)に規定する機械的性質の強度区分4に適合する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 2種2級Ep-Fe/Zn5/CM2)
付属品	ビスCPQ-75(ブルー)×6本
承認等	ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT096

レンコン金物羽子板セット

型番	商品コード	梱包
羽子板セット	**042810**	1セット

写真はレンコン金物羽子板セットを使用。

用途
- 羽子板ボルトや六角ボルトM12を受ける金物です。

特長
- 既存の桁、胴差に直行する梁に羽子板ボルトを取付けるとき、外壁に穴を開けずに羽子板ボルトを取付けられます。
- レンコン金物本体をビス止めするだけで、M12ボルトの取付けが可能なため、施工が簡単になります。
- レンコン金物羽子板セットでご使用いただくと羽子板ボルトとしての利用はもちろんのこと、住設機器等を吊るす際の受け金物としても利用可能です。
- 接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。

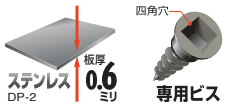
使用方法(レンコン金物羽子板セットの場合)
❶ボルトを受ける位置を決めた後、レンコン金物を付属のビスで接合します。
❷六角ボルトの長さに合わせてビス羽子板金物を付属のビスで接合します。
※この際、ボルトの長さより数ミリ離して取付けることによって引寄せ効果が期待できます。
❸六角ボルトにてしっかりと固定します。

注意事項
- 六角ボルトはレンコン金物を取付けた柱・梁に当たるまでしっかりとねじ込んでください。
- ナットの掛かりが悪いと所定の耐力を維持できません。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 取扱いに関する注意事項は37ページをご参照ください。

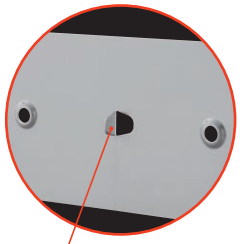
2 フィックステンプレート

〔梁継ぎ手金物〕

横架材継ぎ手を補強する金物です。
コンパクトな設計のため納まりが良く、両面使いで26.3kNの耐力を有しています。



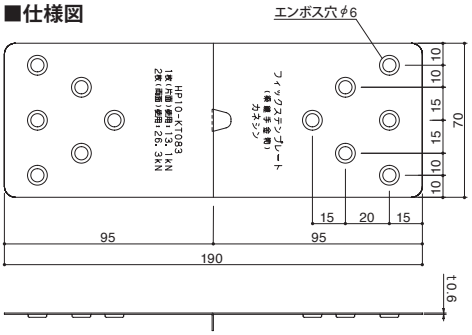
ビスCPQ-45(グレー)



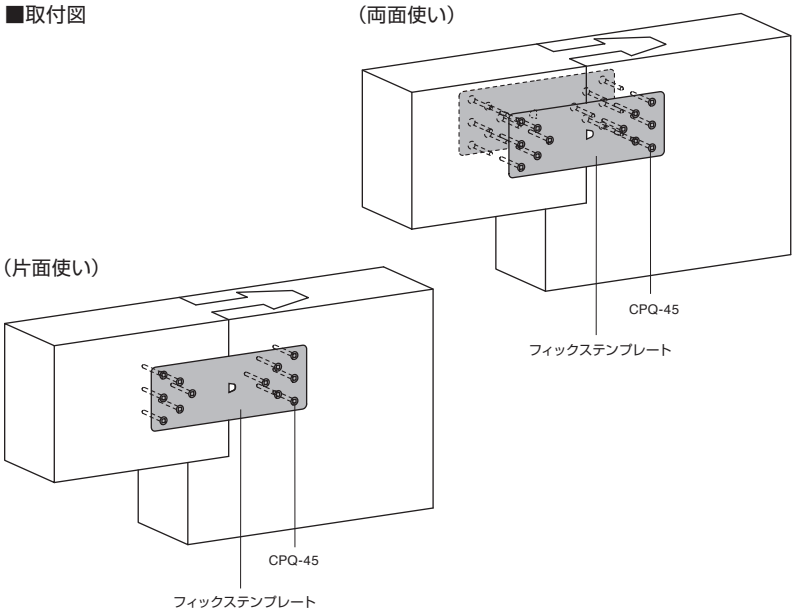
爪

●この爪が継手部の間に納まるので、位置合わせが容易で本体をまっすぐに取付けられます。

■仕様図



■取付図



フィックステンプレート耐力試験

型番	短期基準接合引張耐力(Pot)	接合部倍率(N値)
1枚(片面)使い	**13.1kN**	**2.4**
2枚(両面)使い	**26.3kN**	**4.9**

ハウスプラス確認検査(株)

フィックステンプレート

型番	商品コード	梱包
F-SP	**082030**	50枚/ケース

材　質	NSS431DP-2(高強度複相組織ステンレス鋼)※
付属品	ビスCPQ-45 (グレー) ×12本
承認等	ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT083

※「DP-2」は、日新製鋼株式会社が開発した高強度複相組織ステンレス鋼板の商品名です。

用途

●横架材継ぎ手を補強する金物です。

特長

●従来品に比べ全長が190mmとコンパクトな設計であるため、納まりやすい仕様になっております。
●片面で13.1kN、両面使いで26.3kNと高耐力のため、耐震等級の横架材接合部チェックが有利になります。
●金物中央部の爪により位置決めが容易で、まっすぐに取付けられます。

使用方法

❶本体の爪を梁の継手部に差し込んでください。
❷取付位置が決まったら、付属の専用ビスで本体を取付けてください。

注意事項

●2枚使う際は、梁の両側面に取付けてください。片側に2枚取付けた場合の耐力確認試験は実施しておりません。
●必ず付属の専用ビスで接合してください。
●ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
●取扱いに関する注意事項は37ページをご参照ください。

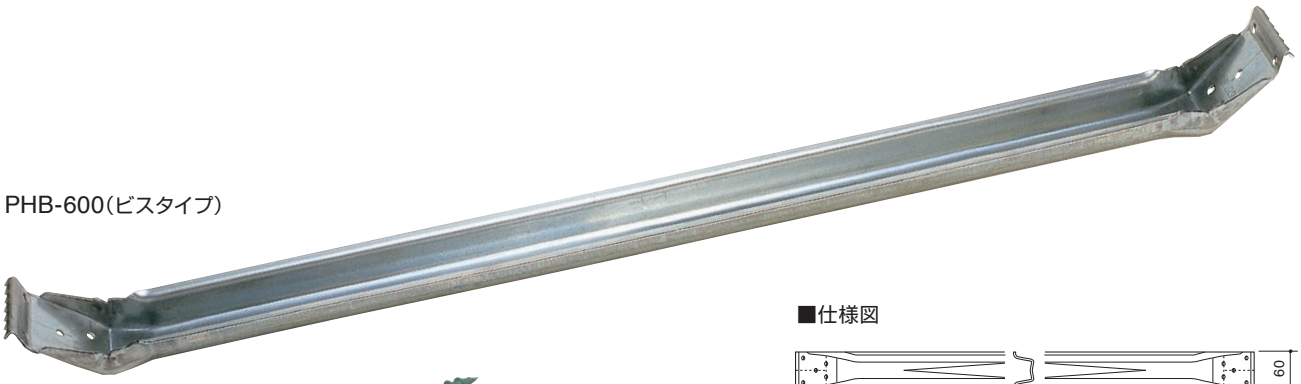
1 プロニック600

〔鋼製火打金物〕〔Zマーク火打金物(HB)同等認定品〕

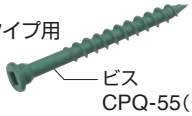
プレスによる一体成型のため耐力も強く、高い信頼性があります。
また仕口加工が不要な為、簡単に施工できます。

専用ビス

PHB-600(ビスタイプ)

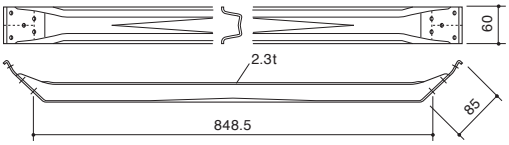


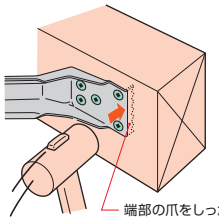
ビスタイプ用



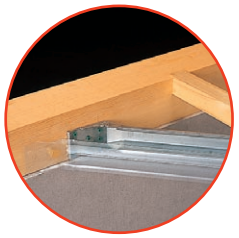
ビス
CPQ-55(グリーン)

■仕様図



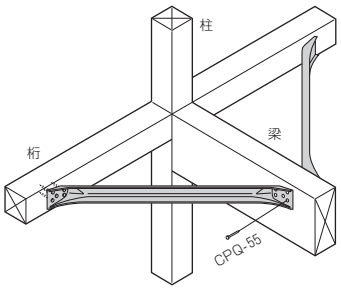


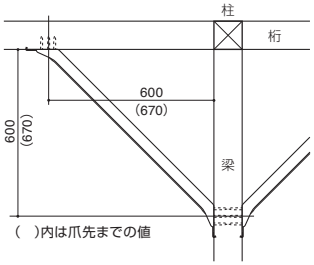
端部の爪をしっかりと打ち込んで下さい。



●根太に干渉することなく施工できます。
●Zマーク火打金物より100mm内側に納まります。

■取付図





用 途

● 床組み・小屋組みの隅角部や土台火打ちとして使用する金物です。

特 長

● 仕口加工が不要なので簡単に施工できます。
● プレスによる一体成型なので信頼性が高い金物です。

使用方法

❶取付面の内角600mmの位置に墨付けをしてください。
❷金物の刻印線を墨線に合わせてください。
❸付属ビス:CPQ-55(グリーン)でしっかりと取付けてください。
❹本体端部の爪をしっかりと打ち込んでください。
❺ビス頭が本体に接するように再度締め付けてください。

注意事項

● 必ず付属の専用ビスで接合してください。
● ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
● 必ず接合部品で本体を取付けてから、本体端部の爪を打ち込み、最後にビス頭が本体に接するように接合部品を打ち込んでください。
● 施工方法に従い金物を取付けていない場合、本来の耐力が得られません。
● 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

プロニック600

型番	商品コード	梱包
PHB-600(ビスタイプ)	**063010**	10本/束 (付属品は別梱包です)

材　質	ZAM® ※(MSM-HC-DA90もしくはMSM-CC-DA90)
表面処理	溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板
付属品	ビスCPQ-55(グリーン)×10本
承認等	(財)日本住宅・木材技術センター/Zマーク同等認定品 D11E01-01

※1)「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2)「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn ーアルミニウムAl ーマグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

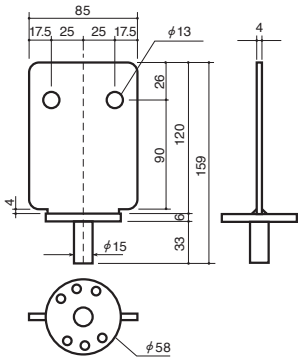
1 後施工金物〈柱頭・柱脚用〉

[INAGON金物]

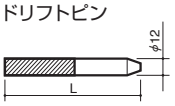
既存住宅等の柱増設が容易にできます。

後施工金物 1（105用・120用）

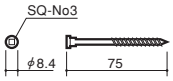
■仕様図



ドリフトピン

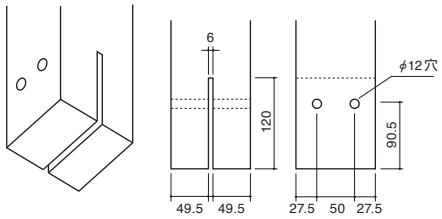


CPQ-75

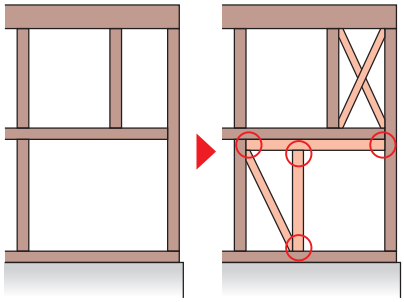


柱	105用	120用
L	103	118

■木材加工詳細図

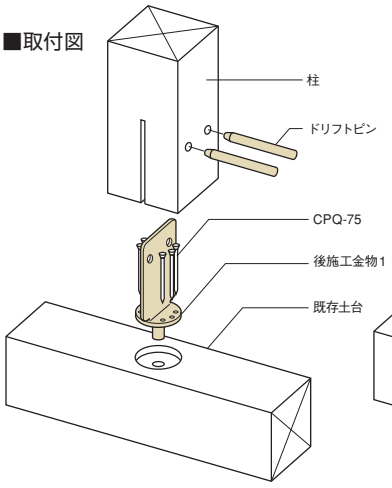


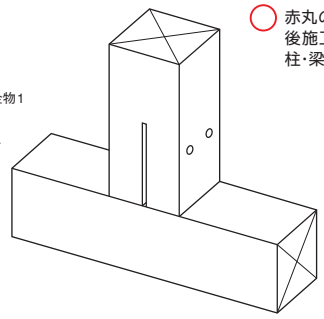
■取付箇所

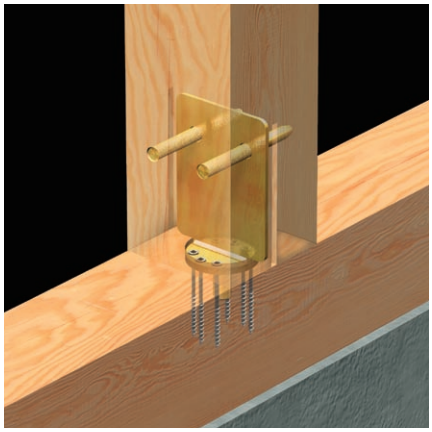


赤丸の箇所で
後施工金物が新規の
柱・梁を強固に接合

■取付図







用 途

- 柱と土台・梁を緊結する時に使用します。

特 長

- 既存住宅等の耐震補強に「後施工金物」を使用することにより容易に柱増設ができます。
- ビス止め金物なので柱仕口の引抜力が確保できます。
- 柱等の増設が容易になり今まで大変だった施工を平準化することが可能です。
- ビス止め金物なので木材の欠損が抑えられます。
- 後付け施工でも柱仕口に対してしっかりとした強度を数値化できます。

使用方法

❶新規柱が正確に取り付けられるように梁・梁間、梁・土台間の寸法を正確に測定して下さい。
❷梁等のソリ曲がり等がある場合は、水平器で水平になるようにカンナ等で加工してください。
❸新規柱は、上図の木材加工詳細図を確認しながら6mmのスリットを鋸で加工し、φ12の穴をドリルで加工してください。
❹既存梁の加工寸法を、必ず水平器で水平を確認してからφ15のドリルで穴開けを行ってください。
❺φ60の座掘錐で座掘加工してください。(座掘深さは10mmです)
❻穴に合わせて上下に注意し金物を取り付けます。ビスを打ち込み、新規柱をドリフトピンで固定します。

注意事項

- 必ず付属品で接合してください。
- ビス接合用の四角ビット（#3）は別売品です。
- 座掘深さ等加工寸法には注意して施工してください。
- 取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

後施工金物耐力試験

※既存木材の座掘り深さは、すべて10㎜です。 ※柱:集成材(スプルース)、横架材:すぎ

製品名	短期基準接合耐力(kN)	
	引張基準耐力	剪断基準耐力
後施工金物〈柱頭・柱脚用〉	**12.3**	**6.1**

(財)建材試験センター

後施工金物〈柱頭・柱脚用〉

型番	商品コード	梱包
後施工金物1(105用)	**175000**	20個/ケース
後施工金物1(120用)	**175100**	

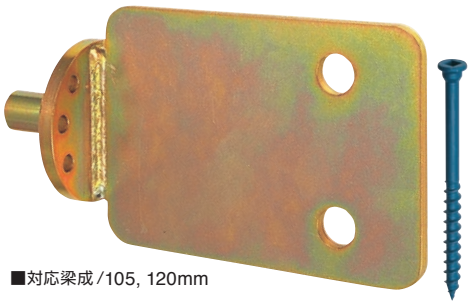
材質	JIS G 3131 SPHC / JIS G 3507 SWRCH10R
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 2種2級Ep-Fe/Zn5/CM2)
付属品	ビスCPQ-75(ブルー)×6本、ドリフトピン2本
承認等	(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第04A0269号 / 第04A0270号

2 後施工金物〈梁受用〉

[INAGON金物]

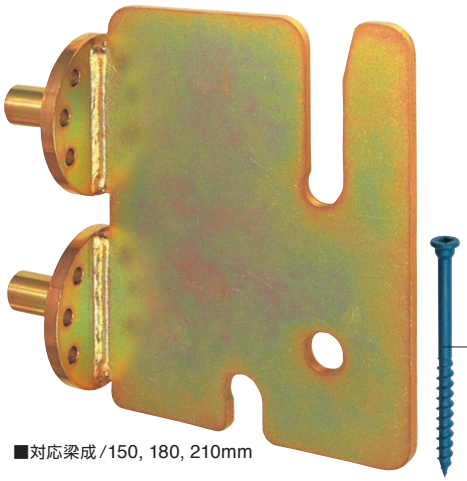
梁を接合する金物です。ボルトを使用せず、ビスだけで施工できますので、リフォーム等で、梁を補強する際に最適です。

後施工金物 1（105用・120用）



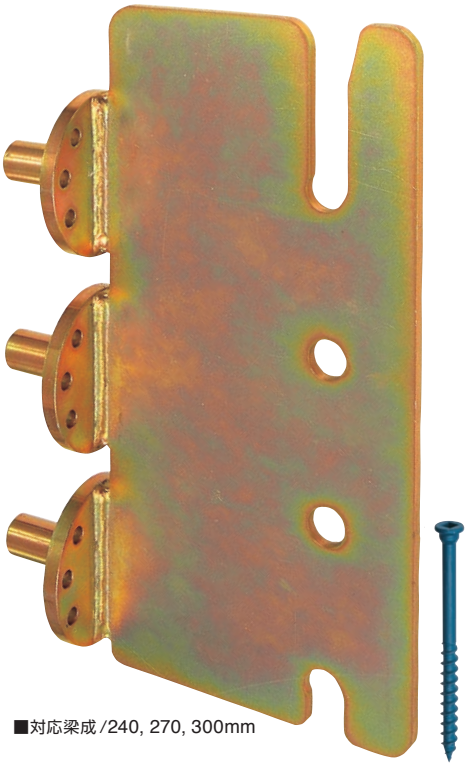
■対応梁成/105, 120mm

後施工金物 2（105用・120用）



■対応梁成/150, 180, 210mm

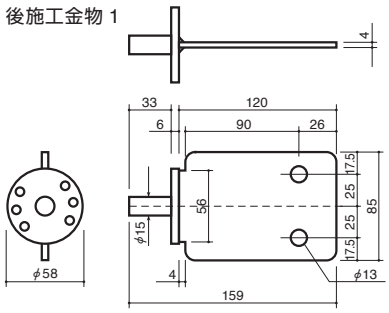
後施工金物 3（105用・120用）



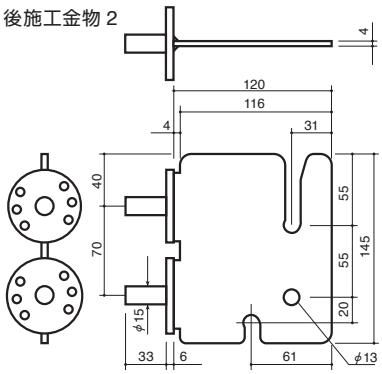
■対応梁成/240, 270, 300mm

■仕様図

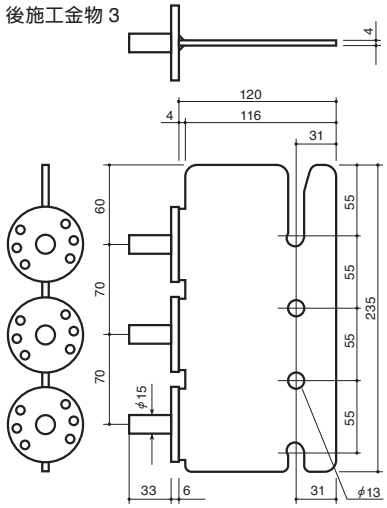
後施工金物 1



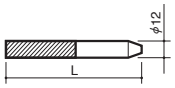
後施工金物 2



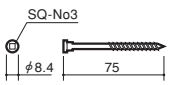
後施工金物 3



ドリフトピン



CPQ-75



梁	105用	120用
L	103	118

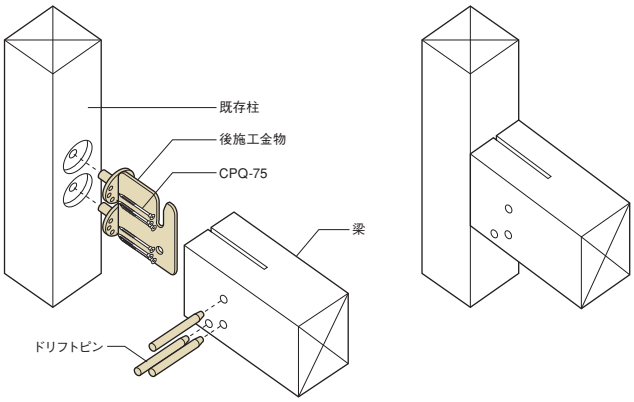
後施工金物耐力試験

※既存木材の座掘り深さは、すべて10mmです。
※柱:すぎ、梁:集成材(おうしゅうあかまつ)。

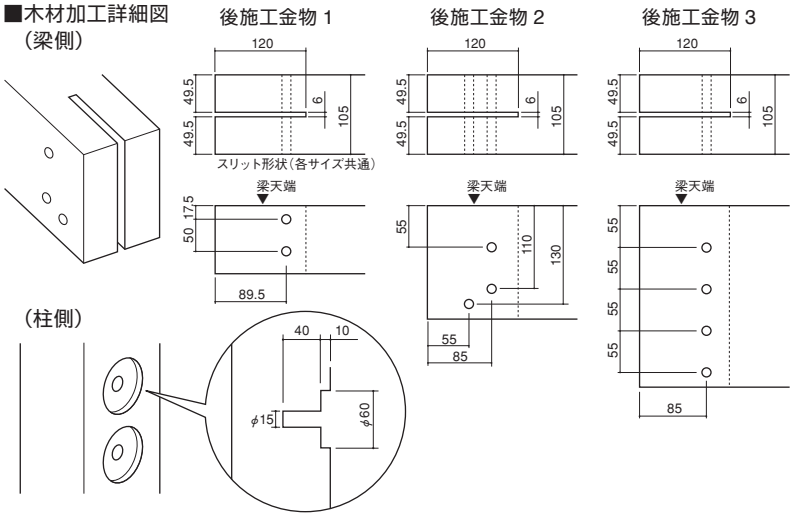
名　称	短期基準接合耐力(kN)	
	引張基準耐力	剪断基準耐力
後施工金物 1	11.5	7.6
後施工金物 2	13.7	15.2
後施工金物 3	16.6	33.8

(財)建材試験センター

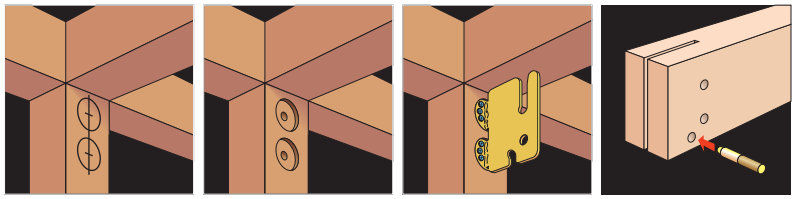
■取付図



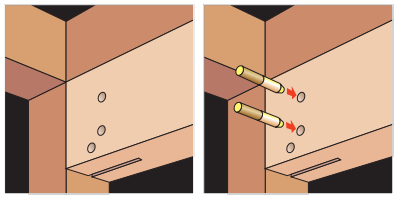
■木材加工詳細図



■施工手順



1 柱側(受材)に墨を出します。
2 柱側(受材)を加工します。
3 柱側(受材)に金物を取り付けます。
4 梁の仕口を加工し、先行ピンを打込みます。
※梁を上から掛ける場合は、一番上の一本を、下から掛ける場合は一番下の一本を打込んで下さい。



5 梁を掛けます。
6 残りのピンを打込み施工完了です。

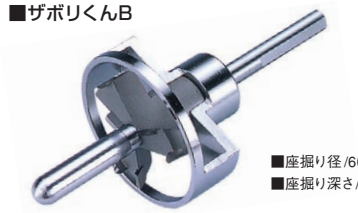
後施工金物〈梁受用〉

型番	商品コード	梱包	型番	商品コード	梱包
後施工金物1(105用)	175000	20個/ケース	後施工金物1(120用)	175100	20個/ケース
後施工金物2(105用)	175010	10個/ケース	後施工金物2(120用)	175110	10個/ケース
後施工金物3(105用)	175030		後施工金物3(120用)	175130	

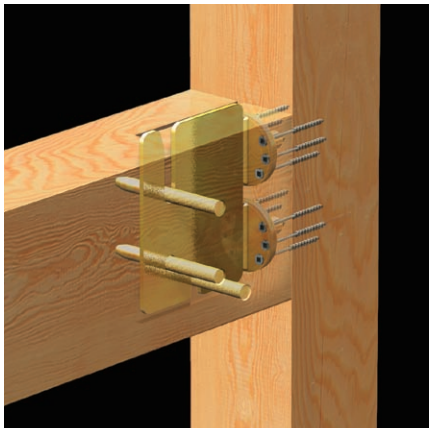
材　質	JIS G 3131 SPHC / JIS G 3507 SWRCH10R
表面処理	クロメートメッキ (JIS H 8610 2種2級Ep-Fe/Zn5/CM2)
付属品	後施工金物1 / ビスCPQ-75 (ブルー) × 6本、ドリフトピン 2本 後施工金物2 / ビスCPQ-75 (ブルー) ×12本、ドリフトピン 3本 後施工金物3 / ビスCPQ-75 (ブルー) ×18本、ドリフトピン 4本
承認等	(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第04A0271号/第04A0272号/第03A3398号/第03A3399号/第03A3401号/第03A3402号

「推奨座掘り用工具 (別売品)」

■ザボリくんB



■座掘り径/60mm
■座掘り深さ/5～30mm程度



用途

●柱と梁を緊結する時に使用します。

特長

●既存住宅等の耐震補強に「後施工金物」を使用することにより容易に梁増設ができます。新規梁を下から施工でき、羽子板等で施工できない場合でもビス止めなので容易に施工できる画期的な金物です。
●ビス止め金物なので新築の化粧梁等に使用でき、木材の欠損を抑えられます。
●外壁等がある場合でも梁等の増設が容易で羽子板ボルトの施工ができない部分でも可能です。

使用方法

❶新規梁が正確に取り付けられるように柱間の寸法を正確に測定して下さい。
❷柱等のソリ曲がり等がある場合は、水平器を使用して垂直になるようにカンナ等で加工してください。
❸新規梁は、左図の木材加工詳細図を確認しながら6mmのスリットを鋸で加工し、φ12の穴をドリルで加工してください。
❹既存柱に、加工寸法を墨出しし、φ15のドリルで穴開けを行ってください。
❺φ60の座掘錐で座掘加工してください。(座掘深さは10mmです)
❻穴に合わせて上下に注意し金物を取り付けます。ビスを打ち込み、新規梁をドリフトピンで固定します。

注意事項

●必ず付属品で接合してください。
●ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
●座掘深さ等加工寸法には注意して施工してください。
●取扱いに関する注意事項は37ページを参照してください。

Zマーク表示金物対応表

Zマーク表示金物

告示1460号第1号	名称	型番	壁倍率
ハ	筋かいプレート	BP	1.5倍
ニ	筋かいプレート	BP-2	2倍

告示1460号第2号	名称	型番	許容引張耐力
い	かすがい	C	1.1kN
ろ	かど金物	CP·L	3.4kN
は	かど金物	CP·T	5.1kN
	山形プレート	VP	5.9kN
に	羽子板ボルト（釘なし）	SB·E2 SB·F2	7.1kN
	短ざく金物（釘なし）	S	
ほ	羽子板ボルト（釘あり）	SB·E SB·F	8.5kN
	短ざく金物（釘あり）	S	
へ	ホールダウン金物10kN用	HD-N10 HD-B10 S-HD10	10.0kN
と	ホールダウン金物15kN用	HD-N15 HD-B15 S-HD15	15.0kN
ち	ホールダウン金物20kN用	HD-N20 HD-B20 S-HD20	20.0kN
り	ホールダウン金物25kN用	HD-N25 HD-B25 S-HD25	25.0kN
ぬ	ホールダウン金物15kN用×2	HD-N15×2 HD-B15×2 S-HD15×2	30.0kN

カネシンオリジナル金物

名称	壁倍率	接合具
1.5倍用ハイパーガセット	1.5倍	CPQ-30×5本 CPQ-45×9本

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP06-KT119/HP06-KT061/HP06-KT062/HP06-KT063

名称	壁倍率	接合具
ハイパーガセット·Ⅱ	2倍	CPQ-45×14本

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP06-KT120/HP06-KT121/HP06-KT066/HP06-KT067

名称	短期基準接合引張耐力	接合具
ライトコーナー（合板）	中柱:6.3kN 隅柱:5.8kN	CPQ-45×6本
	▼合板タイプ	
	中柱:6.0kN 隅柱:5.9kN	CPQ-45×3本 CPQ-75×3本

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP11-KT010 / HP11-KT012 【合板タイプ〈承認〉】ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP11-KT011 / HP11-KT013

名称	短期基準接合引張耐力	接合具
ハイパースリム·Ⅱ（合板）	中柱:10.9kN 隅柱:10.4kN	YPR-85 ×5本
	▼合板タイプ	
	中柱:10.8kN 隅柱:10.0kN	YPR-85 ×3本 YPR-115×2本

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT039 / HP10-KT041 【合板タイプ〈承認〉】ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT040 / HP10-KT042

レンコン金物	11.8kN （羽子板セットで使用した場合）	CPQ-75 ×6本

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT096

後施工金物〈柱頭·柱脚用〉	12.3kN （せん断:6.1kN）	CPQ-75 ×6本 ドリフトピン×2本 (DP-103またはDP-118)

〈承認〉(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第04A0269号 / 第04A0270号

名称	短期基準接合引張耐力	接合具
ビッグコーナー15（合板）	中柱:16.2kN 隅柱:15.3kN	HQR-90×10本
	▼合板タイプ	
	中柱:15.1kN 隅柱:15.1kN	HQR-90 ×5本 HQR-115×5本

〈承認〉(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第07A2489号 / 第08A1846号 【合板タイプ〈承認〉】(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第08A0294号 / 第08A1847号

ハイパーホールダウン23	23.7kN	HR-65 ×5本 丸座金 ×1個

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP07-KT006

ハイパーホールダウン33	33.5kN	HR-65 ×9本 丸座金 ×1個

〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP07-KT050

(財)日本建築防災協会発行『木造住宅の耐震診断と補強方法 - 木造住宅の耐震精密診断と補強方法(改訂版)-』参照。

その他

名称	短期基準接合耐力		接合具
フィックステンプレート	〔引張〕1枚(片面)使用時:13.1kN　2枚(両面)使用時:26.3kN		CPQ-45×12本
			〈承認〉ハウスプラス確認検査(株)性能試験 HP10-KT083
後施工金物〈梁受用〉	後施工金物1	〔引張〕11.5kN〔せん断〕7.6kN	CPQ-75× 6本 ドリフトピン×2本
	後施工金物2	〔引張〕13.7kN〔せん断〕15.2kN	CPQ-75×12本 ドリフトピン×3本
	後施工金物3	〔引張〕16.6kN〔せん断〕33.8kN	CPQ-75×18本 ドリフトピン×4本
			〈承認〉(財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第04A0271号/第04A0272号/第03A3398号/第03A3399号/第03A3401号/第03A3402号

名称	壁倍率	
耐力壁ビス KS4041	3倍(外周ピッチ:150mm 中通ピッチ:150mm)	4.9倍(外周ピッチ:100mm 中通ピッチ:150mm)
		〈承認〉国土交通大臣認定 認定番号FRM-0284/FRM-0285

品質管理

カネシンはこれまで以上の品質向上と安定供給を確実にするために、第三者機関や協力工場との連携をさらに強化し「品質管理」「品質保証」「製品づくり」のすべてにおいて各種認証を取得し、お客様の要望にお応えします。

Zマーク表示金物の承認を取得

（財）日本住宅・木材技術センターよりZマーク表示金物の承認（承認NO.124-1）を取得いたしました。

Zマーク

NO.124-1

「木造軸組工法住宅用接合金物」

(財)日本住宅・木材技術センター内規に規定される、接合金物の仕様と同一の品質・性能※1を有する製品を、安定的に供給できると評価され、製造の承認を受け、流通する接合金物規格品の表示です。

国際規格のISO9001認証取得

カネシンは建築の強度と施工の技術に住宅の要である構造補強金物の高性能、高品質な製品づくりをめざし、設計と委託製造にISOの認証を取得しています。

JAB CM040

JVAC-QM0628

関西デリバリーセンターを除く

環境保全「エコアクション21」の認証取得

エコアクション21 認証・登録番号 0000831

当社は、環境への負荷の軽減を目指した経営を行っており、クロムフリー製品の開発など環境にやさしい製品づくりや資源を大切にする取り組みを行っています。

Sマーク「接合用途」の認定

オリジナル製品が、接合用途に応じて必要とする一定の品質・性能※1を有し、安定的に供給できることを(財)日本住宅・木材技術センターにより評価・認定された製品の認定表示です。

Cマーク「木造枠組工法住宅用接合金物」

上記同様、製造の承認を受け、流通する接合金物規格品の表示です。

品質性能試験報告書「オリジナル製品の公式評価文書」※2

当該製品が、全国に指定される公的評価機関(試験所)により、定められた試験に基づく評価方法で性能※1を確認し、公平且つ適切に評価・報告された文書です。

Dマーク「Z(C)マーク製品規格」の同等認定

オリジナル製品が、上記の各接合金物規格に類似する場合に、当該製品はその規格に品質・性能※1が同等以上であり、安定的に供給できることを、(財)日本住宅・木材技術センターにより評価・認定された、製品の認定表示です。

性能試験成績証明書「オリジナル製品の試験成績証明文書」

HOUSE PLUS

当該製品が、国土交通大臣の指定性能評価機関（ハウスプラス確認検査株式会社）にて定められた試験に基づく評価方法で性能を確認し、成績書として証明された文書です。

※1 性能を評価するには、指定公的機関での同一の性能評価方法による実験的数値をもって行われます。いずれの場合も評価結果を示す文書が発行されます。(評価内容が特殊な場合は、この限りではありません。)
※2 本カタログ掲載中の(品質性能試験報告書)は、(財)建材試験センターにより、定められた試験方法で性能を確認し、公平且つ適切に評価された報告書です。

安全のために

施工上の注意事項

- ●製品本体を取り扱う際は、必ず軍手や手袋などをはめてください。
- ●釘およびビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- ●釘およびビスは必ず付属のもの、または指定されたものをご使用ください。
- ●金物は所定の位置に取り付けてください。
- ●接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- ●現場で防腐・防蟻処置を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- ●ご使用の際は、関係官庁へ事前に使用の報告をしてください。
- ●目的用途以外には使用しないでください。
- ●放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。

その他付記事項

- ●製品の規格および形状は、改善などのため予告なく変更する場合があります。
- ●製品の色は、印刷物と実際の色とは多少異なります。
- ●ご注文の製品がお急ぎの場合は、予め納期をご確認ください。

【参考資料】耐震診断法の概要

(財)日本建築防災協会発行「木造住宅の耐震診断と補強方法-木造住宅の耐震精密診断と補強方法(改訂版)-」より抜粋

診断法の種類

診断法は大きく3種に分類される。

(1)「誰でもできるわが家の耐震診断」:一般ユーザー向け
(2)「一般診断法」:建築士および建築関係者向け
(3)「精密診断法」:建築士向け

精密診断法には次の4種類の方法が用意される。

① 保有耐力診断法(精密診断法1)
② 保有水平耐力計算による方法(精密診断法2)
③ 限界耐力計算による方法(精密診断法2)
④ 時刻歴応答解析による方法(精密診断法2)

【解説】

(1)「誰でもできるわが家の耐震診断」は、一般の人々が自ら住まいの耐震性をチェックしたいといった場合の簡単な診断法を提供するとともに、耐震性に関わるキーポイントを啓発することを目的とした。

(2)「一般診断法」は、耐震補強等の必要性の判定を目的とした。診断を行う人としては、建築士および大工、工務店などの建築に関し多くの知識や経験を有する建築関係者を想定した。正確な診断には、部材やそれらの接合部に関し詳細な情報が必要となる。しかし、必ずしも補強を前提としない診断で、内外装材を剥がしたりする診断法は馴染まないと考え、この一般診断法は原則として非破壊による調査で分かる範囲の情報に基づくものとした。

(3)「精密診断法」は、補強の必要性が高いものについて、より詳細な情報に基づき、補強の必要性の最終的な診断を行うことを目的とした。また、補強を施すものについて、補強後の耐震性を診断することも目的とした。診断を行う人は、やや高度な建築に関連する知識、経験が必要であり、原則として建築士を想定した。精密診断法には4種の方法を用意した。精密診断にあたっては、どれを選択してもよいが、①に比べ、②~④の方法はより適用性が高い。すなわち、対象住宅が特殊な形状であったり、補強方法が特殊なものである場合などは、①の方法が適用できない場合があり、その場合は、②~④の方法を用いることとなる。

診断の流れ

本診断法は、一般的には次のような流れを想定している。まず、一般の方による「誰でもできるわが家の耐震診断」から始まる。耐震性の心配がある場合、あるいはより詳しく診断したい場合、専門家による「一般診断法」の診断を実施する。この結果を受け、「精密診断法」により、補強の要否の最終的な診断を行う。補強の実施を決めた場合、補強後の耐震性の診断は、同じくこの「精密診断法」を実施することにより行う。

【解説】

診断の流れを図1に示す。

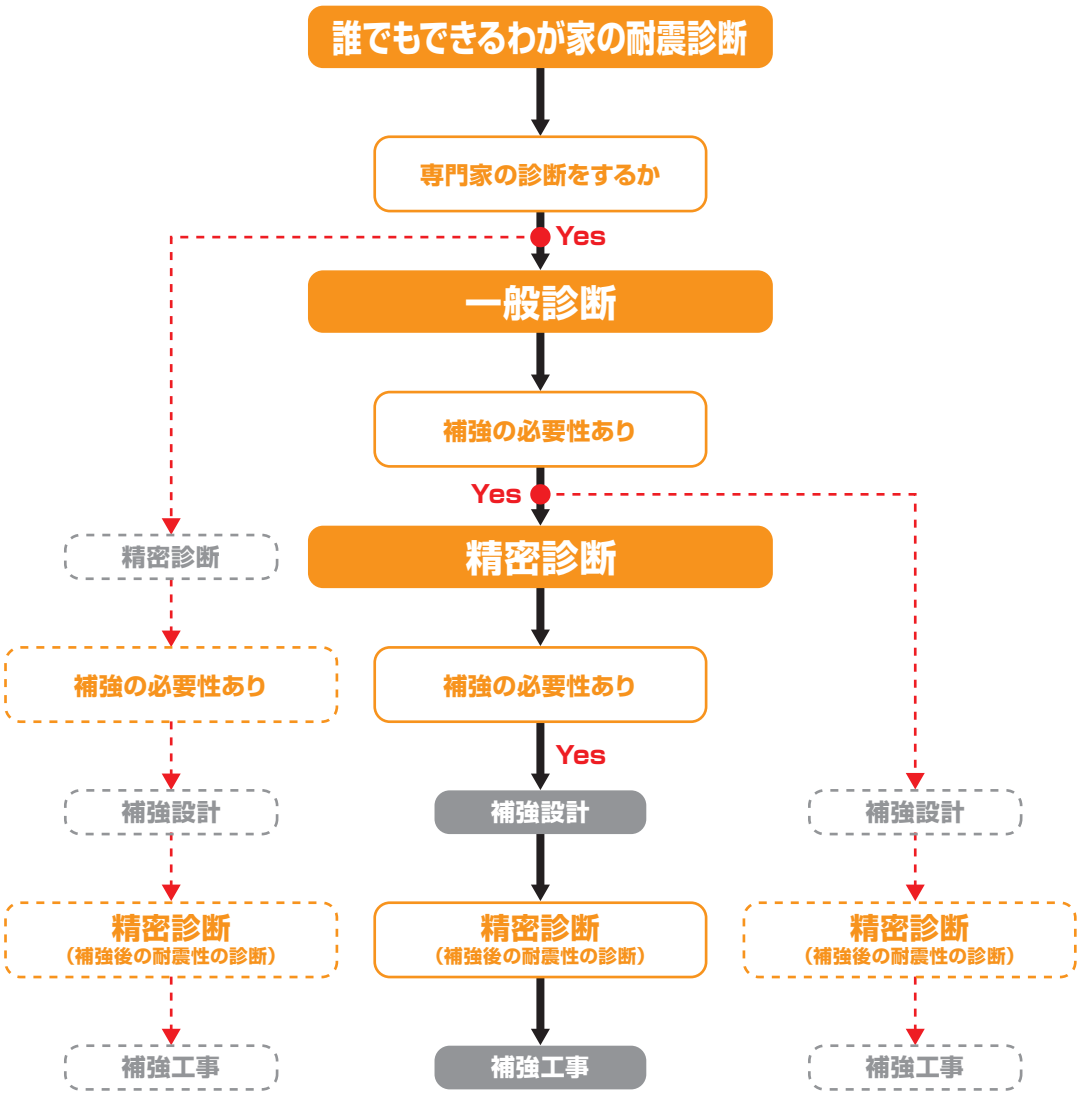
一般的な流れは実線で示すものであるが、点線で示した一部を省略する流れも否定するものではない。また補強設計後の診断を一般診断で代替させることも妨げるものではない。しかし、そのような方法を採ることには、以下のような問題がある。

一般診断を省略して、いきなり精密診断を行えば、結果的に補強が必要でない場合にも、診断に伴って行う外装材の引き剥がしなどの補修費が必要になるなど、費用が嵩む場合がある。

一般診断の次の精密診断を省略して補強設計を行った場合、劣化について部位別の診断をしていないこと、無開口壁以外の耐震要素の調査を行っていないことから、必要以上の補強を行うことになる可能性がある。

補強設計後の診断に一般診断を用いれば、無開口壁による補強以外の補強の評価ができない。

図1 想定される診断の流れ



KANESHIN

株式会社 カネシン

●お問い合せは

本社（受注窓口）

Tel.0120-106781 Fax.0120-677010（通話料無料）

本　　社／〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12
Tel.03-3696-6781　Fax.03-3696-6770

大 阪 支 店／〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島7-6-23 日の出ビル5階
Tel.06-6458-6446　Fax.06-6458-6696

http://www.kaneshin.co.jp/

取扱店

●平成23年8月発行
●このカタログに記載された仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。